

RIKEN TECHNOS

リケンテクノスグループ
RIKEN TECHNOS GROUP

Sustainability Report

サステナビリティレポート

2019



リケンテクノス株式会社

編集方針

リケンテクノスは2002年10月に「環境報告書」を、2005年よりこれを「環境経営報告書」として、環境に主眼をおいた企業としての取り組みと成果を公表してまいりました。2007年度からは社会的側面を含め「CSR報告書」とし、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の観点からリケンテクノスグループの経営理念実現に向けた取り組みと、その成果としてどんな価値を生み出しているのかをご報告してまいりました。

そして、本報告書からは、「サステナビリティレポート」とし、ステークホルダーの皆様と共に持続可能な社会を目指していくための取り組みを報告してまいります。本報告書の特集では、2019年4月からスタートしたリケンテクノスグループの新3か年中期経営計画についてご紹介します。「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」リケンテクノスグループが取り組んでいる内容をご理解いただければ幸いです。

● 報告書の対象範囲

報告対象期間

2018年4月1日～2019年3月31日

なお、本報告書には一部2019年度の活動内容も含んでいます。

報告対象範囲(所在地は18～21ページをご覧ください)

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス(株)およびそのグループ会社下記20社です。項目によってはグループ会社を含まない場合もあります。

対象グループ会社名

- リケンケーブルテクノロジー株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブプロ株式会社
- 株式会社アイエムアイ
- RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
- RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.
- PT. RIKEN INDONESIA
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装(江蘇)有限公司
- RIKEN AMERICAS CORPORATION
- RIMTEC CORPORATION
- RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
- RIKEN VIETNAM CO., LTD.
- 理元(上海)貿易有限公司
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.
- RIKEN U.S.A. CORPORATION
- RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.

報告対象分野

本報告書はリケンテクノス(株)およびグループ会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

● 参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、以下を参考に作成しました。

- 「環境報告書ガイドライン(2018年版)」(環境省)
- 「環境会計ガイドライン2005年版」(環境省)ISO26001

● 持続可能な開発目標(SDGs)



持続可能な開発目標(SDGs)とは、「Sustainable Development Goals」の略称です。このSDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられている持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年における世界のありたい姿を示しています。リケンテクノスグループもこのような動きを参考にしつつ国際社会の一員として持続可能な社会を目指す取り組みを強化してまいります。

RIKEN TECHNOS GROUP Sustainability Report 2019

表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークとRIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATIONのある大韓民国に咲き誇るムクゲを融合したデザインにいたしました。

コーポレートマークは2001年の創立50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの“R”をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせて信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。

リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様と共に考え、行動してまいります。



発行時期

2019年9月(次回発行予定 2020年9月)

発行経歴

年度	発行年月	名称
2002	2002年10月	環境報告書
2003	2003年9月	〃
2004	2004年10月	〃
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	〃
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	〃
2009	2009年10月	〃
2010	2010年10月	〃
2011	2011年10月	〃
2012	2012年10月	〃
2013	2013年9月	〃
2014	2014年9月	〃
2015	2015年9月	〃
2016	2016年9月	〃
2017	2017年9月	〃
2018	2018年9月	〃

目次

編集方針	2
リケンテクノス ウェイ	4
TOP Message	6
特集	
新3か年中期経営計画	10
リケンテクノスグループの概要	
リケンテクノスグループ概要	16
国内・海外ネットワーク	18
製品のご紹介	22
コーポレート・ガバナンス	24
社会性報告	
お客様とのかかわり	26
株主様とのかかわり	29
お取引先様とのかかわり	30
地域の皆様とのかかわり	32
従業員とのかかわり	40
環境報告	
環境管理活動	46
活動結果の概要	48
有識者の意見	55
編集後記	55



リケンテクノス ウェイ

RIKEN TECHNOS WAY

創業当時から引き継いでいる「ベンチャー精神」こそ、

リケンテクノスの強みであり、「リケンらしさ」です。

この「リケンらしさ」をもとに経営理念である「リケンテクノス ウェイ」は策定されました。

ミッションにある「チャレンジメーカー」という言葉は造語ですが、

製造業という意味でのメーカーという他に、

挑戦して何かを創り出す人という意味もこめられています。

未来の飛躍のために、これからも常識にとらわれず挑戦し続けてまいります。

ミッション “使命・存在価値”

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです。

独創的で卓越した、樹脂素材の配合加工技術で、
企業と人と社会に新たな価値と喜びを
提供し続けます。

コア・バリュー “基本的価値観”

信頼しあい貢献しあう
新しい価値を生み出す常に挑戦し
成長する仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

リケンテクノスグループ企業行動規範

ー持続可能な社会の実現のためにー

当社および当社子会社(以下、「グループ各社」)は、
リケンテクノスウェイの実践をととして持続的に成長し、公正かつ自由な競争のもと、
持続可能な社会の実現を牽引する役割を担っています。
そのためグループ各社は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、
国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしてまいります。

1. 社会的使命

イノベーションを通じて社会的に有用で安全な製品・商品を開発・提供し、
持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図る。

2. 公正な事業活動

公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行う。また、政治・行政との健全な関係を保つ。

3. 公正な情報開示・ステークホルダーとの建設的対話

企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、企業をとりまく幅広いステークホルダーと
建設的な対話を行い、企業価値の向上を図る。

4. 人権の尊重

すべての人々の人権を尊重して事業活動を行う。

5. 法律の遵守・国際規範の尊重

各国・地域の法律の遵守、各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習等に配慮した事業活動を行う。

6. 顧客との信頼関係

顧客に対して、製品・商品に関する適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行い、
満足と信頼を獲得する。

7. 働き方の改革・職場環境の充実

従業員の能力を高め、多様性・人格・個性を尊重する働き方改革を実現し、
健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備する。

8. 環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、
自主的かつ積極的に環境に配慮した事業活動を行う。

9. 社会・地域への貢献

「良き企業市民」として、積極的に社会や地域に参画し、その発展に貢献する。

10. 危機管理の徹底

市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の活動や
テロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底する。

経営トップの役割・責任

経営トップは、本規範の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して社内、グループ各社に周知徹底を図る。あわせてサプライチェーンにも本規範の精神に基づく行動を促す。また、本規範の精神に反し社会からの信頼を失うような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たす。



プロフィール

常盤和明(ときわ・かずあき)

1983年(昭和58年)千葉工業大学工学部卒、同年理研ビニル工業(現リケンテクノス)入社。07年米国リケンエラストマーズコーポレーション社長、11年コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長、13年4月取締役経営企画室長。16年4月1日代表取締役社長執行役員に就任。神奈川県出身、58歳。

新3ヵ年中期経営計画 More Value to All 2021

リケンテクノスグループは、2019年4月に新3ヵ年中期経営計画をスタートさせました。経営方針は、「More Value to All 2021 共に生み出せ! さらなる価値を!」です。「More Value to All」という言葉が表しているように、すべてのステークホルダーに向けてリケンテクノスグループにしか実現できない付加価値をお届けできるよう邁進してまいります。経営計画には、具体的に5つの主要課題を掲げています。特に今回は、「持続可能な社会への貢献」という主要課題を盛り込み、気候変動や環境問題に今まで以上に強く意識を向けて化学メーカーとしての責任を果たしてまいります。そのため、本号より「CSR報告書」から「サステナビリティレポート」へとレポートの名称も変更いたしました。レポートの特集として、新3ヵ年中期経営計画についてご紹介しています。「More Value to All 2021」という経営方針に基づき、どのようなことに取り組んでいくかをご理解いただけますと幸いです。

SDGsへの取り組み

国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にある普遍的目標であるSDGs（エスディーゼーズ／Sustainable Development Goals）や環境省による「プラスチック資源循環戦略」など、持続可能な社会を実現するための取り組みがますます盛んになる中、リケンテクノスグループは新3ヵ年中期

経営計画においてSDGsへの取り組みを本格的にスタートいたしました。リケンテクノスグループの生産しているものは高機能プラスチック製品のため、それらが使われている製品は、産業廃棄物として分別され廃棄・リサイクルされるものが大半を占めますが、廃棄・リサイクルも視野に入れた製品開発と燃費向上などの環境負荷低減のための製品開発などを積極的に行ってまいります。また、環境問題にとどまらず持続可能な社会の実現に向け、様々な取り組みを行うことで、国際社会の動きと連動し、化学メーカーとしての責任を果たしてまいります。

すべてのステークホルダーの皆様と共に

将来にわたり実りある豊かな社会を持続させるためには、お客様、お取引先様、株主様、従業員、地域の皆様などすべてのステークホルダーの皆様とのパートナーシップが欠かせません。ステークホルダーの皆様と共に歩んできたことで、お互いの信頼関係を築き上げ、リケンテクノスグループは今日まで存続・発展することができました。そして、これからもその姿勢が変わることはありません。本サステナビリティレポートでは、リケンテクノスグループを支えてくださるステークホルダーの皆様とのかかわりについて報告しております。是非、ご覧ください。

私たちは、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指し、これからもステークホルダーの皆様と共に歩んでまいります。今後ともさらなるご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

リケンテクノス株式会社
代表取締役 社長執行役員

常盤 和明



リケンテクノスグループは、2019年4月より新3ヵ年中期経営計画をスタートさせています。主要課題のひとつとして「サステナブルな社会への貢献」を掲げ、SDGsへの取り組みを始めました。企業として社会にどのような価値を提供できるのかをきちんと考えていけば、SDGsの個々のゴールへの対応ではなく、それぞれのゴールが絡んだ全体的な取り組みへと広がっていくことと思っております。それには、決してリケンテクノスグループだけでなく、ほかの企業や団体などとのパートナーシップがより重要となってくるはずです。是非、ステークホルダーの皆様と共によりよい社会を築いていければと思っております。

リケンテクノスはメーカーであり、製造現場を通じて価値を付加した製品をお届けしております。メーカーである以上、製造現場を常に改革し強くしていかなければなりません。改革の一步は小さな気づきから始まります。常に現場を歩き、少しでもおかしいと疑問に思うことで、具体的な課題が見えてきます。このような取り組みが、事故や労災、不良をなくし、ひいては生産の効率化を生み出し従業員の負担も軽減され、労働安全衛生も強化されていきます。どんなに規模が大きくなろうとも、製造現場を見る癖というのをマネジメント層は、徹底していくべきだと感じております。

どんな価値を生み出していくのかを考え続けること、そして、その価値を生み出す従業員を大切にしていくことで、リケンテクノスグループはさらに強い企業へと成長していくことでしょう。

今後とも、社会のために進化し続けるリケンテクノスグループに対し倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

リケンテクノス株式会社
代表取締役会長

清水 浩

● 役員の紹介

取締役



代表取締役
会長
清水 浩



代表取締役
社長執行役員
常盤 和明



取締役
専務執行役員
管理本部長
兼 経営企画本部長
入江 淳二



取締役
常務執行役員
営業本部長
梶山 学之



取締役
常勤監査等委員
小泉 真人



社外取締役
監査等委員
早川 貴之



社外取締役
監査等委員
中村 重治



社外取締役
監査等委員
柴田 一真

執行役員(取締役兼務者を除く)



上席執行役員
次世代フィルム事業本部長
大谷 寛文



上席執行役員
品質保証本部長
田坂 道久



執行役員
技術本部長
兼 研究開発センター長
杉野 等



執行役員
購買本部長
兼 物流部長
杉江 剛



執行役員
ビルディング&コンストラクション
ビジネスユニット
ビジネスユニットマネージャー
登坂 真史



執行役員
製造本部長
兼 コンパウンド製造部長
興水 宏人



執行役員
RIKEN AMERICAS
CORPORATION 取締役社長
兼 RIKEN ELASTOMERS
CORPORATION 取締役社長
山仲 稔美



新3カ年中期経営計画

(2020年3月期～2022年3月期)

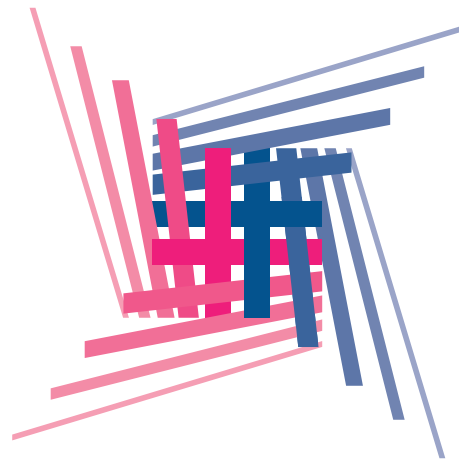
リケンテクノスグループは、2019年4月より新3カ年中期経営計画をスタートさせました。「More Value to All 2021 共に生み出せ!さらなる価値を!」を経営方針とし、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。

この「All」とは、リケンテクノスグループに係わるすべてのステークホルダー、つまり、お客様、お取引様、株主様、従業員、地域の皆様などです。これらすべてのステークホルダーの皆様に対し、それぞれにかなう価値を提供してまいります。

この思いを形で表したものが、新3カ年中期経営計画のロゴマークです。線がそれぞれ絡みあう様子は、共に協力しあっていることを意味し、それらの線が様々な方向へ真っすぐ伸びる様は、リケンテクノスグループに係わる人たちに向けて価値を提供していく姿を描いております。

サステナビリティレポートの特集として、新3カ年中期経営計画の概要をご紹介します。

経営方針



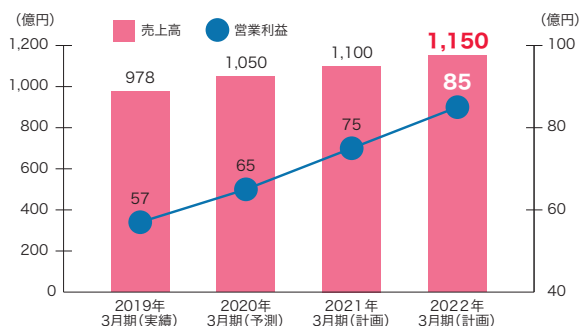
MORE VALUE TO ALL
2 0 2 1

共に生み出せ!さらなる価値を!

～すべての生活空間に快適さを提供する
リーディングカンパニーを目指して～

計数計画

連結ベース	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画最終年度)
売上高	978億円	1,150億円
営業利益	57億円	85億円
経常利益	58億円	85億円
当期純利益	30億円	50億円
ROS	5.9%	7.0%
ROE	6.4%	8.0%



設備投資

3年間での設備投資合計 **計画: 145億円**

単位: 億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2020年 3月期 (予測)	・国内エラストマー増設 ・タイITシステム更新 ・効率化設備投資	35	35	15
2021年 3月期 (計画)	・タイエラストマー増設 ・インドネシア塩ビ増設 ・研究開発センター増築 ・効率化設備投資	58	38	16
2022年 3月期 (計画)	・中国塩ビ増設 ・インドネシア塩ビ増設 ・効率化設備投資	52	36	16



グローバル経営の深化とシナジー

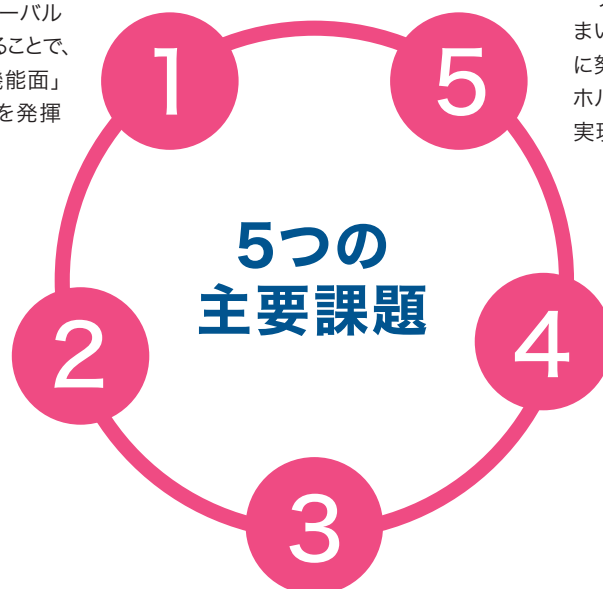
海外拠点の経営のレベルを深化させると同時に、グローバルにシナジーを発揮させていきます。グローバル経営を意識した組織体制のもと、各本部のグローバルでの責任と権限をより一層明確にすることで、「マーケット面」および「各本部の機能面」を両軸として全体でシナジー効果を発揮してまいります。

人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化

グローバルに活躍できる人材を育成してまいります。また、グループガバナンスの強化に努めてまいります。そして、あらゆるステークホルダーに配慮した持続可能な企業経営を実現してまいります。

戦略思考による収益力向上

高付加価値製品の販売を強化し、戦略的に市場を攻めてまいります。また、徹底的なコストダウンなど、効率的な利益の向上を目指してまいります。



サステナブルな社会への貢献

地球環境が大きく変化していく中、持続可能な社会をつくり出すことは、企業としての使命であり、当社グループは、あらゆる側面からサステナブルな社会へ貢献してまいります。

効率を極めた生産体制の実現

将来的な人口減少に備え生産効率を高め省人化、自動化を推進し、このための設備投資も行なってまいります。また製造本部および各本部が連携して、グローバルでの「ものづくり」を強化します。拠点間の連携も含め「ものづくり」に関するあらゆる側面で効率を上げることで、より一層競争力を高めてまいります。

開示セグメントの変更

グローバル視点での経営を強化する目的で、グローバルでのマーケットに対応させた組織に改組しました。財務情報面も整備し、新3か年中期経営計画初年度より、当社の開示セグメントを従来の「プロダクトアウト」（製品別のコンパウンド、フィルム、食品包材）から「マーケットイン」のセグメントに変更してまいります。製品にとらわれず市場別にグローバル戦略を構築することで、よりの確に市場ニーズに応えてまいります。

マーケットイン		※（ ）内は略称	
プロダクトアウト 旧セグメント	新セグメント		ターゲット市場
	 TRANSPORTATION	トランスポーテーション Transportation (TR)	自動車、 鉄道、 船舶市場等  
	 DAILY LIFE & HEALTHCARE	デイリーライフ & ヘルスケア Daily Life & Healthcare (DH)	医療、 生活資材、 食品包材市場等  
	 ELECTRONICS	エレクトロニクス Electronics (EL)	エネルギー、 情報通信、 IT機器市場等  
	 BUILDING & CONSTRUCTION	ビルディング & コンストラクション Building & Construction (BC)	住宅、ビル、 建築資材、 土木市場等  



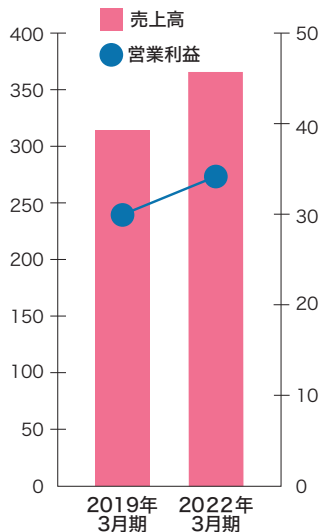
TRANSPORTATION Transportation (TR)

※()内は略称

事業戦略

TRANSPORTATION アジア・北米市場で圧倒的な存在感の確立
自動車分野の機能部品の販売強化

計数計画(億円)

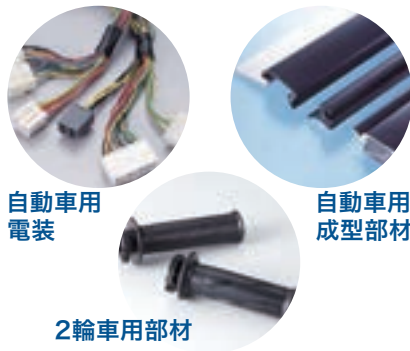


2022年3月期計画

売上高	367億円	55億円増収(18%増)
営業利益	35億円	5億円増益(17%増)

()内は2019年3月期比

重点分野



リケンテクノス株式会社
TRANSPORTATIONビジネスユニット
ビジネスユニットマネージャー
なかむら ふみとし
中村 文俊

自動車や2輪車の電源供給や信号送信を担うワイヤーハーネス、静かさや快適さを守るシール部材、様々な厳しい環境に耐えぬ機能部材は、自動車や2輪車が快適に走行するために欠かせない部品です。多くの分野でリケンテクノスが培った技術力を活かし、最適な機能を持つ材料を開発しグローバルに展開し快適な走行を支えてまいります。



DAILY LIFE & HEALTHCARE Daily Life & Healthcare (DH)

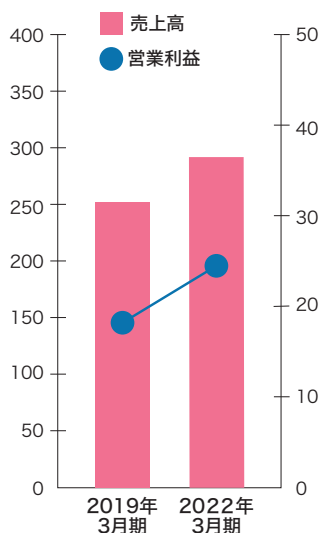
※()内は略称

事業戦略

DAILY LIFE & HEALTHCARE

医療・ヘルスケアおよび生活資材での高付加価値製品の拡充および新分野への挑戦

計数計画(億円)



2022年3月期計画

売上高	287億円	37億円増収(15%増)
営業利益	25億円	7億円増益(35%増)

()内は2019年3月期比

重点分野



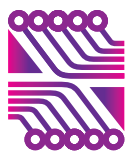
リケンテクノス株式会社
デイリーライフ&ヘルスケアビジネスユニット
ビジネスユニットマネージャー
てらかわ ますみ
寺川 真澄

医療、生活資材、食品包材市場を中心に、生活の中で身近に使われる部材用にコンパウンド、フィルム、ラップ等を販売しております。

持続可能な社会への貢献を目指し『気付けばリケン・元気に100歳』をスローガンに、素材と商品を通して皆様の暮らしを快適に支えるグローバルパートナーであり続けてまいります。



MORE VALUE
TO ALL 2021



エレクトロニクス Electronics (EL)

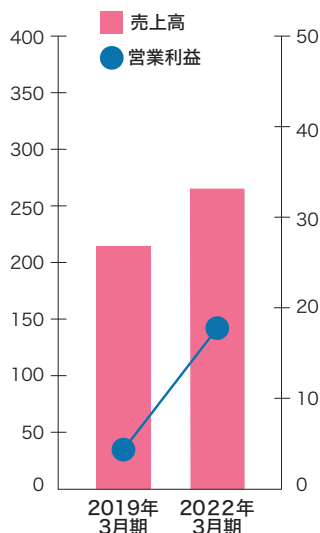
※()内は略称

事業戦略

電線分野での快適な暮らしを支えるインフラへの貢献
光学分野での未来を創造するオンリーワン製品の開発

ELECTRONICS

計数計画(億円)



2022年3月期計画

売上高	255億円	43億円増収(20%増)
営業利益	17億円	13億円増益(325%増)

()内は2019年3月期比

重点分野



電力・通信
インフラ



自動車周辺
インフラ



光学フィルム



リケンテクノス株式会社
エレクトロニクスビジネスユニット
ビジネスユニットマネージャー
だいくはら けいじろう
大工原 敬次郎

スローガンは「次世代の配合加工技術で、環境にやさしいエネルギー・情報を世界の人々へ」です。エネルギー・情報インフラを支える電線・光ファイバーは、リケンテクノスの製品が使われている被覆材で守られています。環境に優しい再生可能エネルギー(太陽光・風力発電など)をお届けするお手伝いもしています。



ビルディング & コンストラクション Building & Construction (BC)

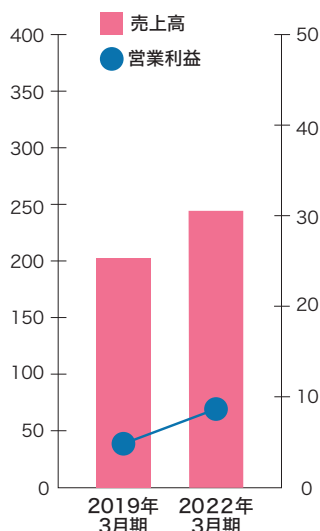
※()内は略称

BUILDING
& CONSTRUCTION

事業戦略

建装材分野にて機能的で環境にやさしく美しい
空間部材の提供

計数計画(億円)



2022年3月期計画

売上高	241億円	38億円増収(19%増)
営業利益	8億円	3億円増益(60%増)

()内は2019年3月期比

重点分野



インテリア



住宅・建築資材



リケンテクノス株式会社 執行役員
ビルディング&コンストラクション
ビジネスユニット
ビジネスユニットマネージャー
とさか まさし
登坂 真史

建装材分野にて国内外の環境、デザインのトレンド情報をいち早く取り込むことができます。その情報を各本部と共有し、省エネをはじめとする様々な機能を付与することで、環境に優しく、また独創的で美しい意匠で、癒される生活空間を創り上げる材料を開発し、グローバルにリケンテクノス製品を提供してまいります。

SDGsへの取り組み

5つの主要課題に取り組みながら
持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

リケンテクノスグループでは、持続可能な社会
において採択された「持続可能な開発のための
SDGsについても取り組みを強化してまいります。
に沿ってゴールを特定し、解決に向けリケン

新3ヵ年中期経営計画 主要課題	SDGsへの取り組み内容
①グローバル経営の 深化とシナジー ②戦略思考による 収益力向上	3 すべての人に 健康と福祉を  グローバルに 医療用製品を提供 高い安全性と安定した品質のコンパウンド 製品で医療器具を支えています。衛生性に 優れ、治療器具がスムーズに動作するよう 設計されたリケンテクノスの製品は、患者 様と医療に従事される方の双方の負担を 軽減しています。  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  EV自動車の製品開発 充電ケーブルの被覆材や、センサー 用のカバーなど多岐にわたって、 グローバルにお届けしてまいり ます。 
③効率を極めた 生産体制の実現	6 安全な水とトイレ を世界中に  化学物質と廃棄物の適正な管理 製品の開発から廃棄までのすべての過程に おいて、環境関連物質による環境への負荷を 低減するために、化学物質と廃棄物を管理 しています。 
④サステナブルな 社会への貢献	3 すべての人に 健康と福祉を  医療用材料の拡販 抗菌、抗ウイルス(SIAA)、 消臭、消毒、耐汚染材、防虫 などの機能を付与した製品 を開発し販売しています。  6 安全な水とトイレ を世界中に  水を節約します 災害時には、高機能 ラップを使用することで 洗浄水を削減できます。 被災地には、支援物資 として食品用ラップを お届けしています。  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 
⑤人材育成と ガバナンス重視の 経営による 企業体質の強化	1 貧困を なくそう  継続的な支援 United Wayなどを通じて 寄付活動を続けてまいります。  4 質の高い教育を みんなに  未来を担う世代を応援 拠点のある地域社会での奨学金の授与、 学校への奉仕を行ってまいります。また、テレビ 番組の「夢らぼ」の制作を通じて頑張る学生を 応援しています。 

づくりに貢献してまいります。国連サミットに「2030アジェンダ」にある普遍的目標である新3カ年中期経営計画で掲げた5つの主要課題テクノスグループ全体で努力してまいります。

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

全主要課題 共通のSDGs

12 つくる責任
つかう責任



リサイクル、軽量化、フードロス減少など、 社会のニーズに対応

例えば、リサイクル性に優れたエラストマーコンパウンドをゴム代替として拡販してまいります。

フィルム製品は、塗装代替としての役割を果たし、VOC削減に貢献しています。また、メタリック意匠のフィルムは、金属代替部品として軽量化に貢献しています。

食品包材では、食品を衛生的に保ち、余った食品を保存するなど、フードロス削減に貢献しています。

16 平和と公正を
すべての人に



情報化社会への貢献

リケンテクノスの電磁波シールド材、高速伝送用の材料(5G対応)は、情報化社会に欠かせない製品です。

12 つくる責任
つかう責任



生産効率のアップ

省人化、自動化などにより生産効率を上げ続けてまいります。生産効率を上げることで、労働環境を改善するとともに、原材料やエネルギーのロスを削減することができ、効率化へあくなき努力を続けてまいります。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



すべての主要課題の解決にはステークホルダーの皆様とのパートナーシップは不可欠です。リケンテクノスグループは、皆様と共に「More Value to All 2021 共に生み出せ!」さらなる価値を!」を実現してまいります。

再生可能エネルギーへの貢献

エラストマーコンパウンドTrinity® FRは、ソーラーケーブルの被覆材に使用され、クリーンエネルギーの送電を支えています。



12 つくる責任
つかう責任



CO₂の削減、 廃棄物削減 化学物質管理

すべてのバリューチェーンを通じてリケンテクノスグループが取り組んでいる重要な環境課題です。



13 気候変動に
具体的な対策を



植樹による 洪水対策

繰り返される洪水対策のためインドネシアで毎年植樹活動を行っています。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性活躍推進

女性の活躍をグローバルに推進してまいります。



8 働きがいも
経済成長も



労働安全衛生と人材活用

従業員の健康第一に労働安全衛生が企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え取り組みを強化しています。また、ポストチャレンジなど人材活用の多様化を進めていきます。



10 人や国の不平等
をなくそう



多様性のある 人材の活用

多様性のある人材を採用し、活躍の場を提供してまいります。



リケンテクノスグループ概要

● 会社概要 (2019年3月31日現在)

社 名 リケンテクノス株式会社
 設立年月日 1951年(昭和26年)3月30日
 資本金 85億14百万円
 代表者 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
 従業員数 連結 1,882名 単体 668名
 本社所在地 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地
 ワテラストワー

● 事業内容

リケンテクノスは創業以来培われてきた合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに「コンパウンド事業」「フィルム事業」「食品包材事業」の3事業を柱に国内外で事業を展開しています。経営理念「リケンテクノス ウェイ」のもと、「科学の力のチャレンジメーカー」として、多様化・高度化するお客様や社会のニーズに適合した高品質な製品・技術を提供しています。

コンパウンド事業

コンパウンドとは、ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材です。

● 主要製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど

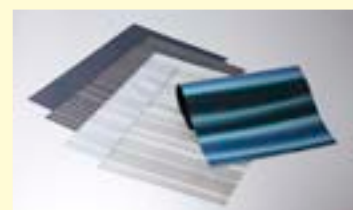


フィルム事業

配合した樹脂の特性に適した製法で高品質のフィルム製膜を行っています。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性塗料をコートすることによって意匠性や機能性を付与したフィルム製品を製造しています。

● 主要製品

建築内装化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



食品包材事業

日本で初めて塩化ビニル樹脂のラップを開発したパイオニア2社が事業統合し、家庭用から業務用まで、幅広い包装用途に最適の品質・性能を追求した製品を開発し市場に提供しています。

● 主要製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



● 業績

2018年度(2019年3月期)のわが国経済は、設備投資が増加し雇用所得環境も改善したこともあり、引き続き緩やかな景気回復傾向が見られました。

海外では、米国経済は個人消費や民間設備投資を中心に堅調を維持し、欧州経済は内需を中心に底堅く推移いたしました。中国経済は、米中貿易摩擦などの影響もあり緩やかな減速傾向となりました。

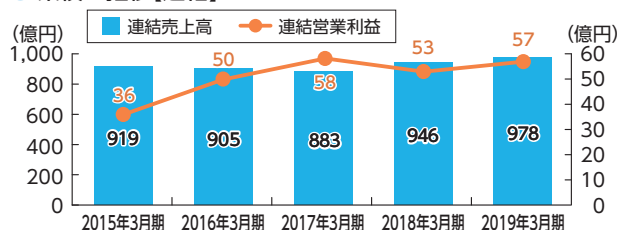
このような環境の中、当社グループは3ヵ年中期経営計画の最終年度を迎え様々な取り組みを行ってまいりました。製造面では、ASEANでの旺盛な需要に対応すべくタイ国

現地法人およびインドネシア国現地法人で増設を行い、今後さらに市場の伸びが期待されるベトナム国と米国において合理化設備を増設いたしました。また、販売面では、中国における自動車市場へのマーケティングを強化し、未開拓地域への進出の足掛かりとしてインド国に販売会社を設立いたしました。このようにグローバルな視点で顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、業績の向上に努めてまいりました。

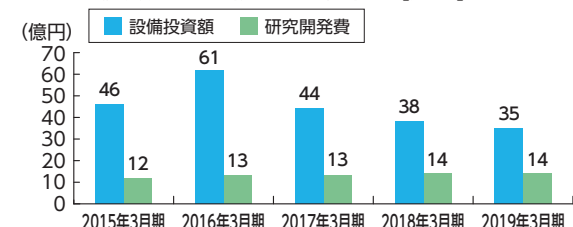
その結果、連結売上高は97,813百万円、前連結会計年度比(以下「前年同期比」)3.4%増加、連結営業利益は5,761百万円(前年同期比6.7%増加)、連結経常利益は

5,869百万円(前年同期比8.5%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,060百万円(前年同期比20.6%増加)となりました。なお、連結売上高につきましては、過去最高、連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、最高益を更新いたしました。

● 業績の推移【連結】



● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



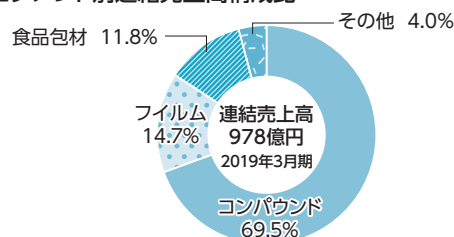
● 2019年3月期 業績

(単位:億円)

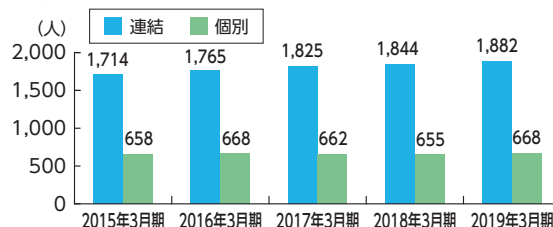
	連結	個別
売上高	978	427
営業利益	57	18
経常利益	58	36
当期純利益※	30	30

※親会社株主に帰属する当期純利益

● セグメント別連結売上高構成比



● 従業員の推移



● 前3カ年中期経営計画 振り返り

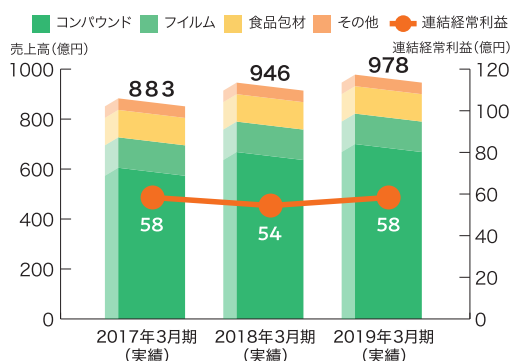
リケンテクノスグループは、2019年3月をもって、「ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018」という経営方針のもと、5つの主要課題に取り組み、連結売上高につきましては、過去最高、連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、最高益を更新し、3カ年中期経営計画を終了いたしました。



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

● 業績結果

連結ベース	実績	計画
売上高	978億円	1,100億円
営業利益	57億円	80億円
経常利益	58億円	80億円
当期純利益	30億円	45億円
ROS	5.9%	7.0%
ROE	6.4%	8.0%



● 主要課題

5つの主要課題に取り組みました。

① 全事業のグローバル経営の深化

アジア・北米での生産設備の増設、アジアでの販売拠点の拡充により、この3カ年でグローバルに販売を伸ばしました。

② 収益力・財務体質の強化

データ分析に基づき各プロセスにおける様々な無駄を排除する取り組みを行いました。

③ 革新的な生産体制の創造

生産性向上および短納期化への取り組みを行いました。

④ 光学分野における事業化の確立

大型案件の受注を獲得したものの黒字化には至りませんでした。

⑤ 戦略的な人材育成による企業基盤の強化

活力ある組織風土を醸成すべく、新人事制度を導入いたしました。

国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび連結子会社20社で構成されています。
創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。
「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、
国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

国内

●事業所 ●製造会社 ●販売会社
*ISO9001認証取得 *ISO14001認証取得

2019年10月現在



12 リケンケミカルプロダクツ株式会社*



3 名古屋営業所**

7 名古屋工場**



2 大阪支店**



5 三重工場**

8 研究開発センター(三重)**

リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
1 本社	本社機構、営業	東京都千代田区
2 大阪支店	営業	大阪府大阪市
3 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
4 埼玉工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	埼玉県深谷市
5 三重工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	三重県亀山市
6 群馬工場	クリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
7 名古屋工場	食品包装用フィルムの製造	愛知県名古屋市
8 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市 群馬県太田市

※連結子会社のうち製造会社については、代表製品の写真を掲載しております。



国内連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
9 リケンケーブルテクノロジー株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	48,000千円	100.00%
10 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成型加工および製品の販売	東京都千代田区	24,000千円	100.00%
11 リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品の仕入・販売	東京都千代田区	10,000千円	100.00%
12 リケンケミカルプロダクツ株式会社	塩化ビニルおよび高機能プラスチック成形材料の製造・販売	滋賀県湖南市	300,000千円	100.00%
13 リケンファブプロ株式会社	食品包装用フィルムおよび合成樹脂、アルミニウム、紙等を原料とする日用品雑貨の製造・加工・販売	東京都千代田区	200,000千円	100.00%
14 株式会社アイエムアイ	床材・壁装材卸売、壁装材の企画・デザインサービス、その他建設材料卸売	東京都台東区	30,000千円	86.00%

国内連結子会社は本社所在地のみを表示しています。

国内・海外ネットワーク

海外には14社の連結子会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

海外

●事業所 ●製造会社 ●販売会社
 *ISO9001 認証取得 *ISO14001 認証取得

2019年10月現在



22 RIKEN VIETNAM CO., LTD. **

医療向け
塩ビコンパウンド



25 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.



29 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE



16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD. **



自動車部材向け
エラストマー
コンパウンド



28 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.



一般塩ビ
コンパウンド



15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD. **



17 PT. RIKEN INDONESIA **



医療向け
塩ビコンパウンド

海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	タイ国パトムタニ県	120,000千 タイバーツ	40.00%
16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.	高機能プラスチック成形材料の製造・販売	タイ国アユタヤ県	300,000千 タイバーツ	100.00%
17 PT. RIKEN INDONESIA	塩化ビニル成形材料の製造・販売	インドネシア国 ウエストジャワ州	11,000千 米ドル	56.22%
18 上海理研塑料有限公司	塩化ビニル成形材料の製造・販売	中国上海市	7,500千 米ドル	70.00%
19 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	中国江蘇省	13,500千 米ドル	92.59%
20 RIMTEC CORPORATION	塩化ビニル成形材料の製造	米国 ニュージャージー州	13,415千 米ドル	62.94% (62.94%)
21 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料 および塩化ビニル成形材料の製造	米国 ケンタッキー州	28,741千 米ドル	62.94% (62.94%)
22 RIKEN VIETNAM CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	ベトナム国 ビンズオン省	15,000千 米ドル	100.00%
23 理元(上海)貿易有限公司	機能性フィルム製品の仕入・販売	中国上海市	5,000千 人民元	100.00%

※RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの資本金は、資本準備金を含んでいます。

※連結子会社のうち製造会社については、代表製品の写真を掲載しております。



海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
24 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION	プラスチック製品の卸売・輸出入	韓国ソウル市	18億 韓国ウォン	100.00%
25 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.	プラスチック製品の卸売・輸出入	ベトナム国 ホーチミン市	400千 米ドル	100.00%
26 RIKEN AMERICAS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料 および塩化ビニル成形材料の販売	米国 ケンタッキー州	30,000千 米ドル	62.94%
27 RIKEN U.S.A. CORPORATION	機能性フィルム製品の仕入・販売	米国ミシガン州	1,000千 米ドル	100.00%
28 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.	プラスチック製品の卸売・輸出入	インド国 ハリヤーナー州	20,000千 インドルピー	100.00% (1.00%)

リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
29 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE	機能性フィルム製品のマーケティング	ドイツ デュッセルドルフ市

※出資比率の()内の数字は、間接保有割合(内数)であり、当社の連結子会社が保有しています。

製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

自動車(外装)製品

- 各種モール用コンパウンド および金属調フィルム
- グラスランチャネル用コンパウンド
- ワイヤハーネス用コンパウンド
- ブーツ用コンパウンド
- ドアミラーパッキン用コンパウンド



自動車(内装)製品

- シフトノブ用コンパウンド
- 加飾用フィルム RIVIC® (リビック®)
- ウィンドウ用フィルム RIVEX® (リベックス®)



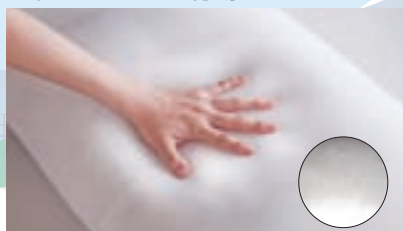
建材・建装材製品

- 高級壁装用フィルム
- 断熱窓枠用コンパウンド
- 建装材部材用コンパウンド



医療・ヘルスケア製品

- シリンジガセット用コンパウンド
- 血液回路用コンパウンド
- 枕のクッション材用コンパウンド



電装材製品

● 電力電線用コンパウンド



● 機器電線用コンパウンド



● フレキシブルフラットケーブル用フィルム



電子材料製品

● 次世代ディスプレイ用フィルムREPTY®(リプティ®)DC100

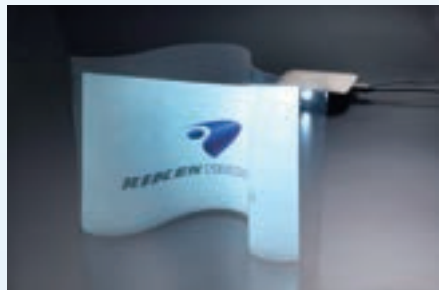


モバイル機器



自動車用ディスプレイ

● プロジェクション用フィルム



デジタルサイネージ

生活資材製品

● ペングリップ用コンパウンド



● カプセルトイ用コンパウンド



● レコード用コンパウンド



● 健康器具用コンパウンド



● 家電ホース用コンパウンド



● 冷蔵庫ガasket用コンパウンド



食品包材製品

● 小巻ラップ



● 業務用ラップ



● リケンビッグラップ®



● フォーラップ®



● ブルーラップ「オーシャン」



● TSUTSUMU





コーポレート・ガバナンス

常勤監査等委員メッセージ



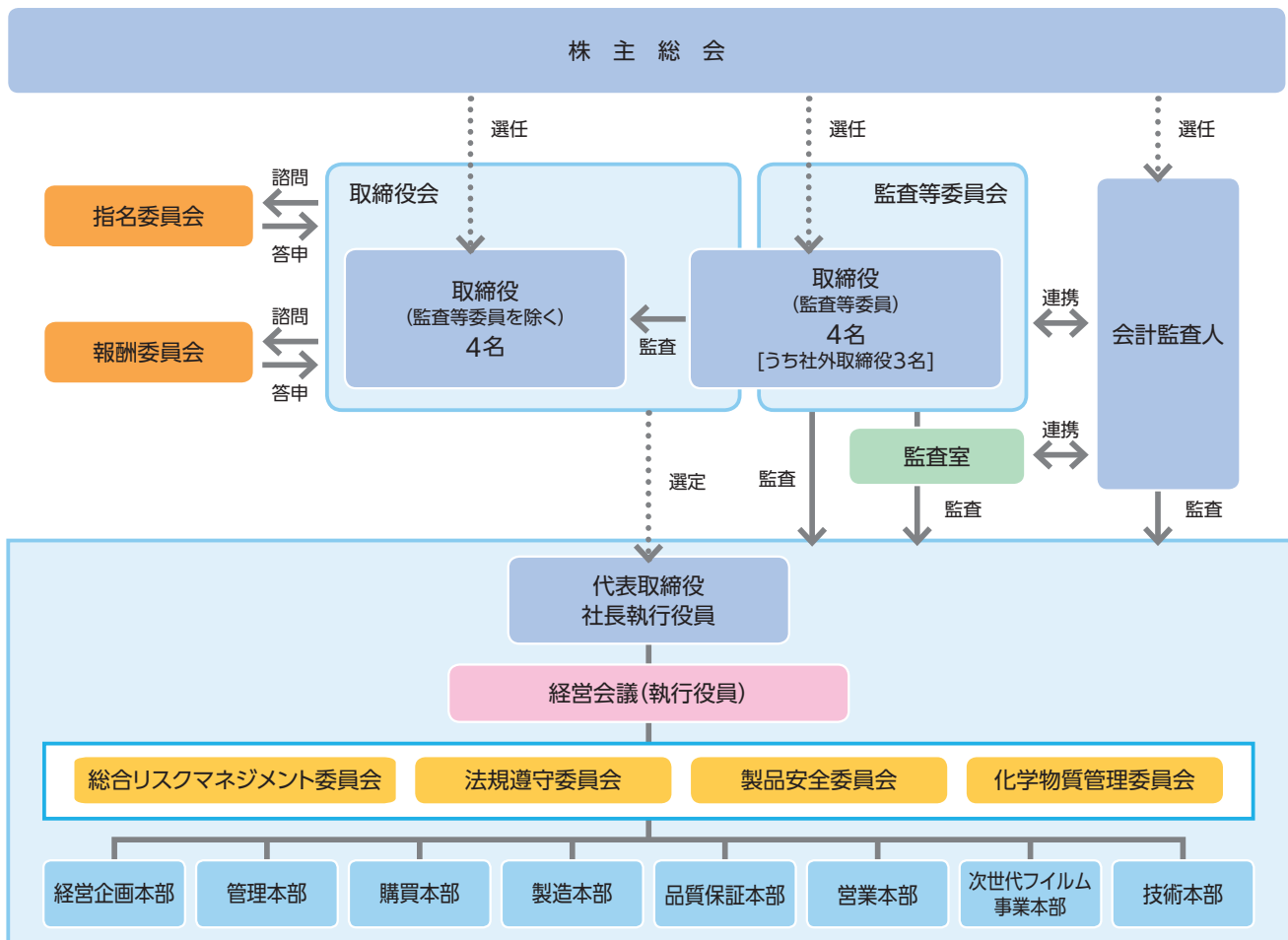
リケンテクノス株式会社
取締役
常勤監査等委員
こいずみ まさと
小泉 真人

一般に、コーポレート・ガバナンスは「会社が、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえた上で、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組み」と定義されています。この仕組みが適正に構築され運用されることが、企業の持続的な成長と企業価値の向上につながります。

リケンテクノスは、監査等委員会と監査室・会計監査人との緊密な連携と協働による業務監査および会計監査の実施等により、社会的信頼性に応える、より良質なガバナンス体制の構築に努めてまいります。

● コーポレート・ガバナンス体制

リケンテクノスは、取締役会の監督機能の強化、経営の透明性・公正性の向上を図るため、監査等委員会設置会社形態を採用しています。また、執行役員制度を採用し、業務執行権限の大幅な委譲を推進することで、機動的・戦略的な経営体制を構築しています。



※詳細は、「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」で開示しています。

最新版は、リケンテクノスのWebサイトまたは東京証券取引所のWebサイトにある「コーポレート・ガバナンス情報サービス」よりご覧いただけます。

● リケンテクノスグループ 企業行動規範

社会的信頼を確保し、企業の社会的責任を果たす基本方針として「リケンテクノスグループ 企業行動規範」を定め、すべての役員および従業員がこれに従って活動を行っています。また、企業行動規範をカードにまとめて社員一人ひとりが常に携帯し、実践に努めています。

筆頭独立社外取締役の立場から



リケンテクノス株式会社
社外取締役
監査等委員
はやかわ たかふみ
早川 貴之

リケンテクノスは、取締役8名の内3名が独立社外取締役です。監査等委員である独立社外取締役として、株主様、お取引先様等、ステークホルダーの皆様の日線を大切に、経営に対し独立した立場から監査・監督等と助言を的確に行うことにより、経営の意思決定における透明性、公正性等の一層の向上を図ってまいります。

● 内部統制システムの基本方針に沿った体制整備

「リケンテクノスグループ 企業行動規範」を確実に実現するために、「内部統制システムの基本方針」を制定しています。詳細は、リケンテクノスのWebサイトよりご覧いただけます。

取締役・使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

- 代表取締役をはじめとした全取締役は、「リケンテクノスグループ 企業行動規範」および法令・定款遵守がすべての企業活動において基本であることを全役職員に徹底させる。
- 管理本部長を法規遵守委員会の委員長に任命し、その活動内容は取締役会に適宜報告される。また、法務・コンプライアンス室は全役職員に対しコンプライアンス教育を実施する。
- グループ各社は、市民社会の安全や秩序に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切関係を持たない。また、反社会的勢力および団体からの不当な要求に対しては、毅然とした姿勢で臨み決して屈しない。

グループ各社における業務の適正を確保するための体制

- 経営企画部は、「連結子会社管理規程」等に基づき、リケンテクノスに対する報告およびリケンテクノスにおける承認が適切に実施されるようにリケンテクノス連結子会社を管理・監督する。また、これらの管理・監督を通じて損失の危険を管理する。
- 法務・コンプライアンス室は、「リケンテクノスグループ コンプライアンスマニュアル」をグループ各社の役職員に周知徹底させ、グループ各社のコンプライアンス体制の整備および問題の解決に努める。
- 監査室は、定期的にグループ各社の業務監査を実施し、すべての業務活動が法令等に適合することを確認するとともに、経営諸規程に基づいて効率的に運営され、また、経営諸規程が経営目標達成のために適切に機能しているかを点検・評価する。

監査等委員会の職務を補助すべき使用人に関する事項ならびにその独立性に関する事項

- 監査等委員会の職務を補佐する直轄の組織として監査室を設置し、専任の使用人を複数名配置する。
- 当該使用人の独立性を確保するため、その指揮命令権を専ら監査等委員会に委譲し、取締役（監査等委員である取締役を除く。）のほか、業務執行部門の指揮命令を受けないこととする。また、当該使用人の人事異動・人事評価・懲戒処分等の決定については、事前に監査等委員会の同意を得るものとする。

● 財務報告に係わる内部統制

「金融商品取引法」に基づき、財務報告に係わる内部統制の整備・運用および評価の基本方針書を作成し、2009年3月期決算から適用しています。

2019年3月期決算におけるリケンテクノスグループの財務報告に係わる内部統制は有効であると評価する内部統制報告書を金融庁に提出しました。

● 独立役員

リケンテクノスは、東京証券取引所上場規程第436条の2の定めに従い、独立役員3名（社外取締役3名）を選任しています。また、独立社外取締役の中から互選により「筆頭独立社外取締役」を選定し、ほかの取締役等との連絡・調整に係る体制整備を図っています。

● 内部通報ホットライン

法令・規則違反に関する疑問などを連絡・相談する窓口として内部通報ホットラインを設置しています。

監査室のほかに、顧問法律事務所による第三者窓口も設置し、また、相談者が社内で特定されないようにするなど、いかなる不利益も受けないよう徹底しています。

● 情報セキュリティ

リケンテクノスでは、アクセス制限・データの暗号化などにより、情報漏洩リスクの最小化に努め、最新のプロテクトシステムを導入しています。また、個人情報保護法およびマイナンバー法^{*1}に基づき、社内規程を制定・運用しています。

^{*1} マイナンバー法：行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

お客様とのかかわり

営業本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
取締役 常務執行役員
営業本部長
かじやま まさゆき
梶山 孝之

営業本部はマーケットインの視点から「トランスポーター」「デイリーライフ&ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング&コンストラクション」の4ビジネスユニット体制に生まれ変わりました。この新しいビジネスユニットは、すべての本部、国内外の子会社と連携し、お客様が要望される価値に対応した製品をグローバルでお届けしております。

快適な暮らしを支えるリーディングカンパニーを目指し、全員が一丸となって邁進致します。

役員および部門長メッセージ



リケンテクノス株式会社
上席執行役員
次世代フィルム事業
本部長
おおたに ひろまさ
大谷 寛文

次世代フィルム事業本部は、豊かな未来を創造するオンリーワンフィルム製品を開発し販売してまいります。我々の持つ「独創的に光を科学する技術」を駆使し、産学連携・社外企業等とも協業体制を推進、さらなる価値をよりスピーディーに生み出していきます。

未来空間(モビリティ、街並み、サイネージ、医療、情報機器など)を「美しく」「軽く」「安全に」をキーワードに、世界の街並みを美しく飾り、未来モビリティの軽量化に貢献し、地球環境に役立つ次世代フィルムによる快適な空間を創造していきます。



リケンテクノス株式会社
執行役員
技術本部長
研究開発センター長
すぎの ひとし
杉野 等

私たちは、「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」という課題のもと、当社が提供する製品・サービスの環境や社会への貢献を第一に捉え、活動しています。研究開発においても「More Value to All」を意識し、気候変動や海洋プラスチックごみなどに代表される環境問題の解決につながる技術や製品開発に注力しています。持続可能な社会を実現し、人々が笑顔で暮らせる未来を創造するために様々な物質を最適なモノに変化させられるプラスチック素材で未来を創る研究開発に挑戦してまいります。



リケンテクノス株式会社
理事
営業戦略室長
兼 営業管理部長
はたなか ゆきひろ
箕輪 行晃

営業戦略室は2019年度より新設され、新3か年中期経営計画の経営方針である「More Value to All」を実現するため、それぞれのビジネスユニットの機能を最大化させていくことがミッションです。

リケンテクノスグループの価値を皆様にお届けし、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーとなるべく営業戦略面からの取り組みを強化してまいります。

そして、グローバル経営の視点を持ち、戦略思考による企業体質の強化を図ることで、リケンテクノスグループの営業利益を伸長させてまいります。

「人とくるまのテクノロジー展2019」に出展

「人とくるまのテクノロジー展2019」

開催期間：2019年5月22日(水)～5月24日(金)

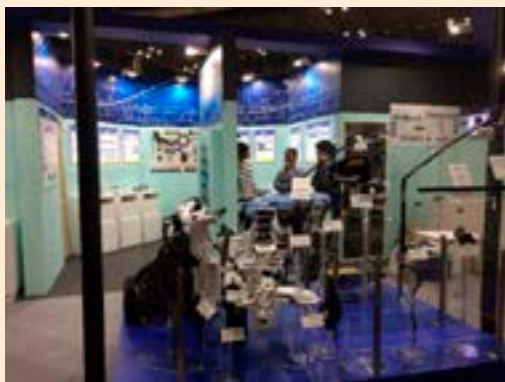
場所：パシフィコ横浜 展示会来場者数：95,900名

人とくるまのテクノロジー展は、自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者のための自動車技術の専門展となり、当社も毎年出展しております。現在、自動車産業は大きな転換期を迎えており、従来の延長にはない、新たな技術による進化が始まっています。展示会場でも、脱エンジン化と自動運転化に向けた展示が年々強まってきています。脱エンジン化では耐熱要求の変化により、従来のゴム部品から樹脂部品への切替え提案や、自動運転化により静音性や移動空間としての新たな方向性、また自動運転において電磁波に係わる要求の変化など、様々な最新技術が紹

介されています。

当社のブースでは、特に機能部品に関して、ゴム素材から樹脂素材への代替を展示いたしました。透明なアクリル造作模型へ部品をつけて展示することで、樹脂化をわかりやすくアピールしました。コンパウンド製品では、当社の強みである電磁遮蔽コンパウンドや摺動材性コンパウンドによる表皮材の外観を意識した展示を行いました。フィルム製品では、高意匠のデザインを展示し、素材で表現できる美しさにこだわり、展示を行いました。

○展示品紹介



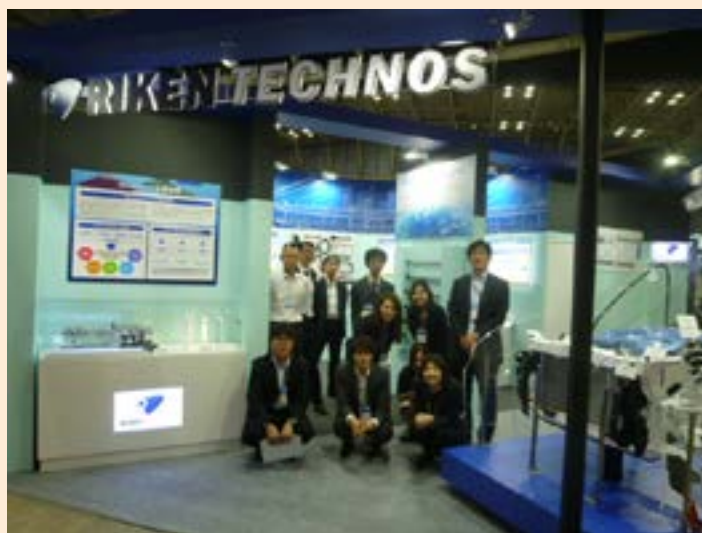
アクリル造作模型



コンパウンドの練りの工程模型「ミエルーダ28」



内外装用加飾フィルム(RIVIC®)



● 製品の品質保証

品質保証本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
上席執行役員
品質保証本部長
田坂 道久

品質保証本部は、品質方針であります「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを供給する」をもとに活動しております。

品質保証本部によるチェック体制を強化し、世界中のどこでも同じ「リケンテクノス品質」を供給できるグローバル供給体制を継続・推進しております。「熱意と徹底で、不良ゼロ・労災ゼロを実現する」ことを目標に、国内・海外の関係会社への品質監査を通じISO9001を軸にしたシステムの向上、5Sの推進、原材料と製品スペックの最新版管理を実施しております。その結果、関係者の品質への意識が高まり、高い顧客満足度を頂戴することができております。また、環境との調和に配慮した製品造り、環境負荷物質および、廃棄物の削減を推進しております。

本年度から、一部品質検査の自動化とデータの統計管理、機械学習による過去の不具合解析を行い、品質管理効率化、能率化、合理化を実現していきます。

リケンテクノスはISO9001の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不具合の是正処置の妥当性等の確認、必要に応じて再検討、水平展開の指示等を行っています。

また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

ISO9001 (2015) 登録証

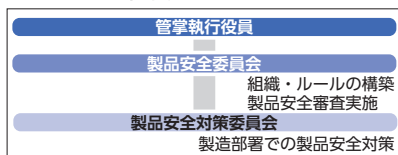
登録日: 1998年9月14日 有効期限: 2022年8月30日

● 安全に配慮した製品開発

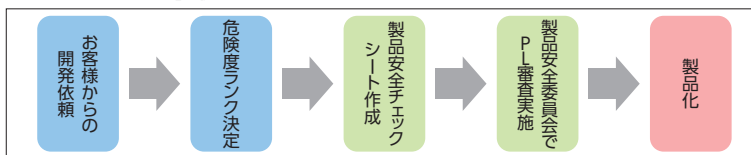
● 製造物責任(PL)対応

メーカーに課せられた使命として、当社設立以来、製品の安全性に配慮してまいりました。また、製造物責任法の施行を機会に、1995年1月にPL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。

● 製品安全組織



● 製品安全審査手順



● 化学物質の安全性の管理強化

● 規制対象化学物質の混入防止製造ライン

RoHS2*指令などの規制対象化学物質の混入を防止できる製造ラインとなっています。

● 化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化

学物質審査規制法(化審法)の第一種・第二種特定化学物質のほか、監視化学物質も使用禁止としています。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

*RoHS2指令: 有害物質の電気・電子機器への使用を制限するため欧州規制で2006年から施行された指令(6物質規制)。RoHS2は2013年に施行され2015年改正、2019年から施行される指令(10物質規制)。

● クレームへの対応

2018年度は、異常を早期に認識するための統計管理、作業標準の遵守徹底を行うための品質監査を主軸に活動いたしました。設備管理不足による不良は減少しましたが、再発防止策は不十分でした。今年度は、昨年に引き続きTPM活動の浸透に努め、真因を見極め有効な再発防止策を見つけるためにロジカルシンキング活動を進めてまいります。

株主様とのかかわり

株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主総会に関する取り組み

リケンテクノスの株主総会は、より多くの株主様に出席していただけるよう、株主総会が集中する日程を避けて開催しています。

株主総会の議題を十分に検討いただくため、招集通知の早期発送と発送前のWEB開示を行っています。また、議決権行使を円滑に行っていただく取り組みとして、インターネットによる議決権行使と招集通知の英訳を行っています。

配当に関する基本方針

リケンテクノスは、中長期的な企業価値の向上をととして株主還元を図ることを経営上の重要課題のひとつと位置づけており、配当については、連結配当性向30%程度をひとつの目安とした上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき、2019年3月期の期末配当金については、前期比2円増配の1株当たり8円とし、中間配当金を含めた年間配当金は1株当たり14円とさせていただきます。

基準日	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2015年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2016年3月期	5円00銭	5円00銭	10円00銭
2017年3月期	5円00銭	6円00銭	11円00銭
2018年3月期	6円00銭	6円00銭	12円00銭
2019年3月期	6円00銭	8円00銭	14円00銭

情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極的開示に努めています。

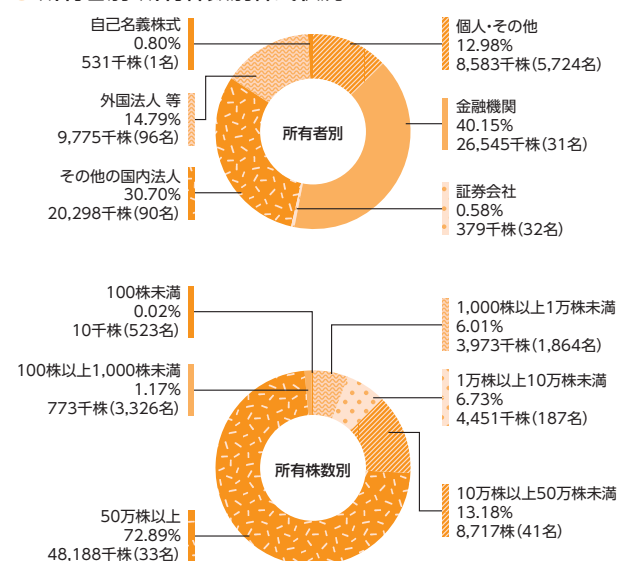
また、リケンテクノスWebサイトに財務・IRに関するページを設け、決算短信、有価証券報告書、その他の適時開示資料などを情報開示後（プレスリリース）、速やかにリケンテクノスWebサイトにも掲載しています。

株式状況・株主の構成(2019年3月31日現在)

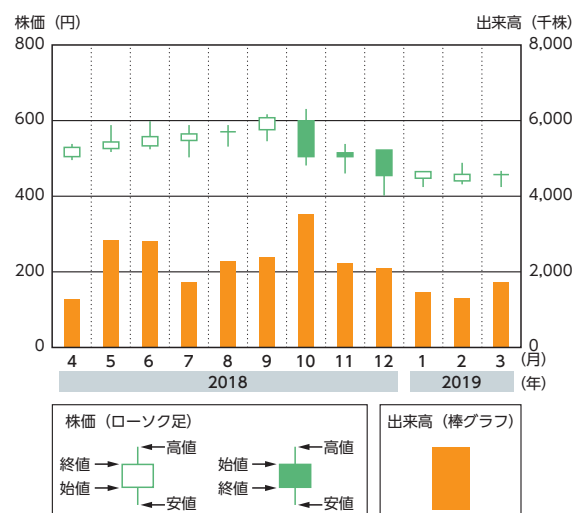
株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	66,113,819株
株主数	5,974名

所有者別・所有株数別株式状況



株価および出来高の推移



お取引先様とのかかわり

購買本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
購買本部長
すげえ たけし
杉江 剛

購買本部は、資材・物流に係わる多くの物品に関して、国内外のお取引先様から様々なご提案とご協力をいただきながら活動しています。また、グローバル展開をする中で、「持続可能な調達」をキーワードにSDGsを推進してまいります。

尚、新3ヵ年中期経営計画「More Value to All 2021 共に生み出せ! さらなる価値を!」の初年度に際し、お取引先の皆様と協業しながら持続可能な社会へさらなる貢献をしてまいります。

リケンテクノスグループでは、グローバル購買方針、およびグリーン調達基準に基づいたサプライチェーン構築を推進しています。また、継続的なコストダウンのために購入窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

● リケンテクノスの購買方針について

① 公正な購買取引と選定

対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

国内外を問わず、グローバルな視点からの全体最適と局所最適を行います。

② パートナーシップの構築

お取引先様と良きパートナーとしての継続的な相互信頼
関係を構築し、共存共栄を図ります。

③ 関連法令の遵守と自主管理

お取引先様との機密情報に留意し、社会的規範や各国の
関連法令を重視し購入を行います。

④ お取引の基準

購入にあたってはお取引様の経営状況を鑑み、QCD+S
の視点から総合的に判断します。

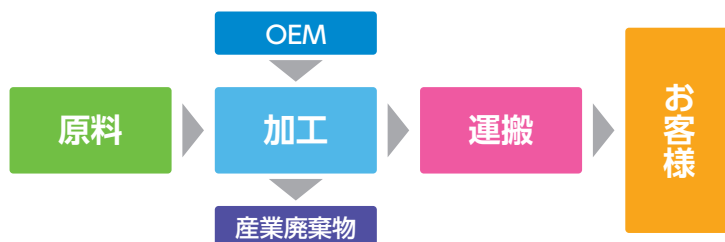
⑤ グローバル購買体制

リケンテクノスグループの購買業務は、本社購買本部の資材部と各工場、海外拠点の購入担当部署が行っています。

● サプライチェーンマネジメント

お客様により安全で信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2018年度は、16社の原材料購入先、委託加工先、運送委託先、産業廃棄物処理委託先の環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。

● サプライチェーン



● リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。当社は2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、Webサイト上に公開しました。さらに、2009年8月、関係会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」とし、2015年改定に至っています。

※詳細は当社Webサイトをご覧ください。

適用範囲

当社が調達する樹脂、可塑剤、安定剤、充填剤、強化剤、着色剤、フィルム基材、塗工剤、接着剤、離形紙など直接製品を構成するものや、包装材、燃料などの副資材。

要求事項

- お取引先様における環境管理システムの構築
- 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成
- 当社が指定した環境関連物質に関する調査および報告。
「RoHS2* 10物質の測定データ」、化学物質審査規制法、労働安全衛生法、REACH等法令該当化学物質含有情報の提供

運用

原材料・副資材は、法令該当化学物質等の含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が把握されているものを調達していきます。また、当社評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少な

い原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

リケンテクノスグリーン購入基準

文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

● 適用範囲

当社の本社・支店・営業所・工場・研究開発センターで購入または借り受ける紙類等の文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

● 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

● 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介いただけるようお願いしています。

* P28の注釈参照ください。

● 物流における環境への取り組み

- 製品納入の帰り車の利用による実車率の向上を目指します。
- 物流拠点の統廃合を行っていきます。
- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。中長期的にみてエネルギー消費原単位を年率1%

低減することを目指しています。

- お客様からのパレットの回収による購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製への変更を推進しています。

品質安全活動

- 提携運送会社によるISO9001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

亀山急送株式会社

Gマーク登録証

登録日:2017年12月14日 有効期限:2020年12月31日

ISO9001登録証

登録日:2003年5月9日 有効期限:2021年5月8日

株式会社モテギ

Gマーク登録証

登録日:2007年12月20日 有効期限:2019年12月31日

ISO9001登録証

登録日:2000年3月10日 有効期限:2022年4月1日

ISO14001登録証

登録日:2004年10月29日 有効期限:2022年4月1日

● 輸送量とCO₂発生量

輸送	2016年度結果	2017年度結果	2018年度結果
輸送量(t・km)	27,139,548	28,738,308	28,485,895
CO ₂ 発生量(t-CO ₂)	4,711	4,988	4,944

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいております。国内と海外での取り組みについてその一部をご紹介します。

国内での取り組み



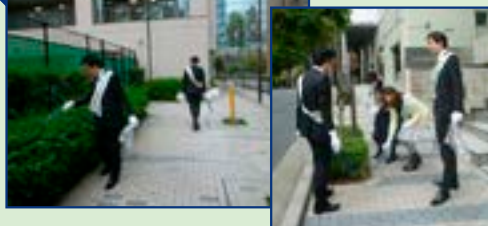
環境への取り組み

埼玉工場



埼玉工場では、岡部駅までの線路沿いごみ拾い(年2回)と、工場周辺ごみ拾い(月1回)を行っています。

本社



本社初の取り組みとして、千代田区一斉清掃に参加しました。

三重工場



近隣の住宅周辺を中心に工場周辺のごみ拾いを行いました。



子ども神輿

三重工場



樺野町の子ども神輿で、元気な子どもたちと交流を図りました。

2018年4月～

4月

5月

6月

7月

8月

9月



献血実施

埼玉工場



赤十字血液センターによる献血を実施しました。



普通救命講習

埼玉工場



埼玉工場では深谷市消防本部から講師を招き、普通救命講習を受講しました。AEDや人形を使って心肺蘇生法などを学びました。



貢献



次世代



交流



環境



近隣自治会の夏祭りへの協賛

地元の3つの地域自治会の子ども神輿が、工場にやってきました。今や埼玉工場の夏の風物詩となりました。

埼玉工場



亀山市納涼大会への協賛および参加

旧亀山町時代から続く亀山市納涼大会へ企業の部として参加し、みたらし団子とリケンファブのラップを販売しました。今回は初の試みとして、近隣の方々にみたらし団子の無料券を配布し、近隣の方々と交流できる良い機会となりました。

三重工場





インターンシップ

未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。

埼玉工場・三重工場ともにフィルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。

埼玉工場



三重工場



亀山中学校から元気な3名の生徒さんがインターンシップとして来てくれました。

2019年2月に実施した埼玉工場での職場体験記をご紹介します。(一部抜粋)

埼玉工場 熊谷工業高等学校 機械科生徒代表

私は、リケンテクノス様でたくさんのことを学びました。その中で特に印象に残ったことが3つあります。1つ目は職場の人たちがとても優しく何でも丁寧に教えてくださったことです。私が実習をしているときに分からないことが生じたときにはしっかりと教えていただきました。2つ目は、私たちが生活の中で欠かせないものをたくさん作っているということです。食品用ラップやフィルムなど身近なものを作っていることに驚きました。3つ目は、とにかく仕事をこなすのが早いことです。作業を行うときも素早い動きで、大変感動しました。この4日間の経験でたくさんの経験をさせていただきました。リケンテクノスの皆様、大変ありがとうございました。

埼玉工場 熊谷工業高等学校 電気科生徒代表

今回のインターンシップを通して、働くことの大変さや楽しさを感じることができました。特に梱包作業はミスが許されない作業で力も必要でしたが、乗り越えることができて良かったです。モーターのベアリング交換と電気回路の組み立ては担当者の方々に教えて頂きながら、自分で作った回路でモーターを動かすことができて、働くことの楽しさを感じることができました。4日間という短い時間でしたが、インターンシップを通してたくさんのことを学びました。ここで学んだことはこれからの人生で一生の財産となると思います。今後の学校生活にも生かしていきたいです。



「ふれあいカーニバル in おかべ」へ協賛を行いました。



「おかベコスモス祭」花火大会へ協賛を行いました。



2019年

10月

11月

12月

1月

2月

3月



消火栓操法指導会

埼玉工場



深谷市消防本部にて行われる消火栓操法指導会に参加しています。指導会当日はあいにくの雨天となり指導会は中止となりましたが、指導会に向けて熱心に練習を行いました。



交通安全講話

三重工場



三重県亀山警察署による交通安全講話を行いました。



駅伝・マラソン大会

三重工場



亀山市駅伝大会への協賛および参加を行いました。

埼玉工場



ふかやシティハーフマラソンへの協賛および参加を行いました。

● 海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATION、タイ国のRIKEN (THAILAND) CO., LTD.、中国の理研食品包装(江蘇)有限公司、そしてインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社 執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長 兼
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
やまなか としき
山仲 稔美

ケンタッキー州ホプキンスビルに位置するRIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは2006年の創業以来、地域貢献活動に積極的に参加しています。同地に2016年に創業した親会社となるRIKEN AMERICAS CORPORATIONと共にその活動範囲を広げています。

地域の子どもたちへは、毎年11月頃に小学校で読書会を開いています。従業員が学校へ出向き子どもに本を読んで聞かせ様々な議論をするもので、子どもたちはもちろん従業員にとってもとても有意義な機会になっています。

また、Boys & Girls Club、United Way、今年50周年を迎えたPenny-rile Area Development District (PADD)等の団体を通して、各イベントへの参加や会社・従業員の有志による寄付活動を継続的に行っています。

私たちは今後より一層の子どもたちへの地域貢献活動を広げることが、周辺地域との社会価値と経済価値を共に創造していく一歩と考え前進していきます。

● RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。

Boys and Girls Club

Boys and Girls Clubの昼食会に参加しました。支援を受けている子どもたちが観衆の前で演奏したり施設見学ツアーをガイドしたりなど、生き活きとした姿を見せてくれました。この組織での経験が彼らの生活にとっても良い影響を与えているようです。



ペンブローク小学校での本の読み聞かせ

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONおよびRIKEN AMERICAS CORPORATIONはペンブローク小学校のコミュニティリーダーデーに参加し、本の読み聞かせを行いました。子どもたちはとても喜んでくれたようで、お礼に書ききのプレゼントを頂きました。



Kim Wilcoxさん



代表メッセージ



リケンテクノス株式会社
理事
RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 取締役社長
うえやま しゅんいち
植山 俊一

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.は1982年の設立以来、タイ国の文化を尊重し地域社会と従業員とのかかわりを深めてまいりました。

従業員とのかかわりの中では、タイ国の将来を担うご子息、ご息女の学業の助けとなるよう奨学金制度を設けております。

若い時にぜひ一生懸命学業に励んでいただき、立派な社会人となって将来タイ国の発展に貢献していただくことを期待しております。

2018年度は1名につき5,000バーツの奨学金を13名に授与いたしました。

今後も引き続き、地域に貢献してまいります。

● RIKEN (THAILAND) CO., LTD.の取り組み

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.では、社員の子どもの勉学推進および少収入社員の支援を図り、奨学金制度を設けています。2018年度は1名につき5,000バーツの奨学金を13名に授与しました。13人中、小学1年生が1人、小学2年生が3人、小学4年生が2人、小学6年生が1人、中学1年生が2人、中学2年生が1人、中学3年生が1人、高校1年生が2人です。



RIKEN (THAILAND) CO., LTD.の2018年度奨学金を受けた皆さん

奨学金を
受けた子供たち

カンヤーナット
スィーディー ちゃん
(Miss Kanyanat Sridhi)

小学
1年生



ソンサック スィーディーさん
(Mr.Somsak Sridhi)
のお子さん

ナリンニパー
ソムブン ちゃん
(Miss Narinipha Sombun)

小学
2年生



タウィーサック ソムブンさん
(Mr.Taweesak Sombun)
のお子さん

プリタット
ピムカーン くん
(Master Phuritad Pimkan)

小学
2年生



ジラユス ピムカーンさん
(Mr.Jirayus Pimkan)
のお子さん

タモンワン
ブンチャート ちゃん
(Miss Tamonwan Bunchart)

小学
2年生



プラソング ブンチャートさん
(Mr.Prasong Bunchart)
のお子さん

ラウィニパー
コータマー ちゃん
(Miss Rawinnipha Kotama)

小学
4年生



アムパン コータマーさん
(Mr.Amphun Kotama)
のお子さん

ワリントーン
プラチャーノーク ちゃん
(Miss Warinthorn Prachanok)

小学
4年生



ウティット プラチャーノークさん
(Mr.Uthit Prachanok)
のお子さん

コンワリン
ヌアムトン ちゃん
(Miss Kornwarin Nuamthong)

小学
6年生



スチャート ヌアムトンさん
(Mr.Suchart Nuamthong)
のお子さん

ナタニチャー
プミコンサーン ちゃん
(Miss Nathanicha Phumisakorn)

中学
1年生



アーティット プミコンサーンさん
(Mr.Arthit Phumisakorn)
のお子さん

ナタノン
ブントー くん
(Master Nathanon Phuengto)

中学
1年生



マーノッチ ブントーさん
(Mr.Marnoch Phuengto)
のお子さん

ウィパーウィー
プーウィパク ちゃん
(Miss Wiphawee Phuwichak)

中学
2年生



ウィルット プーウィパクさん
(Mr.Wirut Phuwichak)
のお子さん

サヤーモン
カムディー ちゃん
(Miss Sayamon Kamdee)

中学
3年生



タナウト カムディーさん
(Mr.Thanawat Kamdee)
のお子さん

ナチャヤー
ONGJALARTAWON ちゃん
(Miss Natchaya Wongcharuentaworn)

高校
1年生



スナントー ジャイジャルアンさん
(Miss Sunantha Jaicharuen)
のお子さん

リンラダー
サンマニー ちゃん
(Miss Rinrada Sangmanee)

高校
1年生



ジュターマス クワンターワオンさん
(Miss Juthamas Kwanthaworn)
のお子さん

奨学金を授与した子どもたちからお礼の手紙をもらいましたので、ご紹介いたします。(現地社員による日本語訳)

ブリタット・ピムガーンさん

奨学金をいただき
て嬉しく思います。
リケン社様に感謝
いたします。一番
役に立つようこの
奨学金を使いま
す。しっかり勉強し
て父母を手伝っ
て家事をします。父
がリケン社様で働
いてのおかげで今回の奨学金をいただいた機
会になりました。とても嬉しいです。
どうもありがとうございました。



ウィパーウィー・プーウィパクさん

奨学金をくださ
いましてどうもあ
りがとうございま
した。父から奨学
金募集について聞
いたら、自分の中
学1年生の成績が
あまりよくないの
で、たぶん難しい
だろうと思います。
数週間後、父から「奨学金が受けた」という連
絡があって、私はとても嬉しいです。良い機
会を与えてくださりありがとうございました。
会社に来たとき、美味しいお菓子をいただき
ました。最後、日本の経営の方に「ありがとう
ございました」と言いたかったです。



ナチャヤー・オングジャルアンターフォンさん

まず、奨学金を
くださいましてあ
りがとうございま
した。真面目に勉
強して最高に役
立つようこの奨
学金を使います。
奨学金を受けた
のは今回、3回
目です。大変あり
がとうございます。
もっと頑張って
勉強します。私
は小学生の時か
らずっと奨学金
を受けました。
ずっとご支援
していただいて
感謝いたします。
ありがとうございました。



代表メッセージ



リケンテクノス株式会社
理研食品包装(江蘇)有限公司総経理
関根 幸博

理研食品包装(江蘇)有限公司では、2003年の設立以来、清掃員や守衛業務員に地域のシルバー人材を積極的に登用しております。中国は日本に比べ 定年の年齢が低く、地域の雇用充実のためシルバー人材の登用を継続しており、現在全従業員62名の内 7名のシルバー人材を契約社員として雇用しております。

また、地域の美化に貢献するために、社員全員での構内清掃を継続的に実施しております。

これからも理研食品包装(江蘇)有限公司は、地域に根ざした企業を目指して、様々な取り組みを行ってまいります。

● 理研食品包装(江蘇)有限公司の取り組み

理研食品包装(江蘇)有限公司では、6S(整理・整頓・清潔・清掃・躰・セーフティ)活動の一環として社員全員での工場内とその周辺の清掃を開始しました。



シルバー人材の清掃員の方々



代表メッセージ



リケンテクノス株式会社
理事
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
佐藤 敏幸

PT. RIKEN INDONESIAは、2008年からEid al-Adha(イードアルアダ)と呼ばれる犠牲祭を毎年開催しています。Eid al-AdhaはEid al-Fitr(イードアルフィト)という「ラマダン断食明け祭」から2ヵ月後に行われます。

毎年、CSRの一環として、従業員が出席して、牛や山羊を犠牲として、肉を皆で分かち合います。また、工場の周りがある村々へ直接、山羊を寄付します。

この祭りを通じて従業員とその家族、工場周辺の人々との良好な関係を維持しています。

また、今年は、昨年マングローブ植樹のために訪問した村Pantai Bahagia Villageの環境改善を目的に、バスルーム及びトイレ施設の寄付、及び学校の修理を予定しております。

● PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

Eid al-Adha(犠牲祭)

PT. RIKEN INDONESIAでは毎年犠牲祭に参加し、従業員はじめ地域の方々と交流を図っています。今年は、牛3頭を工場内の儀式に、山羊6頭を地域の村に提供しました。



マングローブの植樹活動

インドネシアのPT. RIKEN INDONESIAでは、マングローブの植樹活動を行っています。2018年は、繰り返し洪水が起き、貧しい人々が多く住むPantai Bahagia Villageで実施しました。村までは、川に沿って10人乗りほどの小さなボートで約2時間かけて向かいます。村の人々は炎天下の中、幼い子どもたちも一緒にテントを張って迎えてくれました。PT. RIKEN INDONESIAの社員は、約100本ほどの苗木を植え、3,000本のマングローブの木を寄付しました。



● 次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組で紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか？夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか？そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。



① 夢らぼに出演しての感想

自分の活動をより多くの方に知ってもらえる貴重な機会となりましたし、一緒に活動している仲間たちもテレビ出演に喜んでくれたので嬉しかったです。私が出演させていただいたのは記念すべき第100回目ということで大変光栄でした。こうして大きな夢を追う学生の背中を押してくださることにとても感謝しています。



えんどう れきお
遠藤 玲希央 さん

② 今の活動、今後の活動

parnovi(ぱるのび)という「ペットの飼い主の写真投稿からペットサービスを探せる口コミSNS」を作っています。parnoviでは、お散歩仲間や気になる飼い主が利用したペットサービスや店舗の評価・口コミなどから、これまで検索では見つからなかった“うちの子”にあったペットサービスを見つけることができます。

アカウント毎に信頼スコアが明示され、スコアの高い飼い主や店舗はよりメリットを得られるような仕組みになっています。これにより、これまで「倫理をとるかお金儲けをとるか」の二項対立だったペット社会を「倫理的に正しい人が報われるペット社会」にし、持続的な社会課題解決を実現します。

現在(2019年7月)はWEB版をリリースし、どんな機能やデザインが必要とされるのか仮説検証を回しながらサービスの魅力を磨いています。今後は秋にアプリをリリースし、より多くの飼い主さんに使っていただけることを目指しています。



お二人の活動についてはこちらから

www.yume-lab.jp

① 夢らぼに出演しての感想

「高松さんってこんな人だったんだ!」「弁論のイメージが変わった!」というありがたい声を多くいただきました。普段は「写真」「文章」を中心に弁論活動をPRしていたのですが、やはり「動画」のインパクトは大きく、URLを送るだけで自己紹介ができるようになりました。これをきっかけに、私自身も今後はYoutubeなどを活用し、発信力を高めていきたいと考えております。素敵な放送回にくださったスタッフの皆さまに、心から感謝申し上げます。



たかまつ みずき
高松 瑞樹 さん

② 今の活動、今後の活動

今の活動:【史上初!年齢制限なしの弁論大会を開催「学問」としての弁論を漫画で発信】

現在、大きく分けて3つの活動をしております。①企業研修(弁論講座)の企画・実施:こちらは研修プログラム及び教材を大幅にブラッシュアップ中で、年内にパンフレット等を公開予定です。東証一部上場企業様などでも導入していただき、大変好評です。②弁論大会の主催:2019年1月12日(土)に香川県高松市にて「第一回高松杯全日本弁論大会」を開催しました。全国各地から応募があり、老若男女問わず10名の弁士が出場しました。第二回は東京で開催予定です。③「日本雄弁学」の研究とコンテンツ作り:明治時代に数多く発行された「雄弁(弁論)」の文献をベースにしたノウハウ漫画を作成中です。

今後の活動:この度、ついに「弁論ガール」という個人活動からパワーアップし、「弁士道研究所」という新組織を立ち上げました(※近日公式サイト公開予定)。また、今後はプロの研修講師として本格的にお仕事を引き受けていくことを決意しました。20代のうちに本を出版し、たとえ私がいなくとも弁論講座が広まっていくような“仕組み作り”をすることが目標です。



今までに出演された学生の皆さん

#80: 高松 瑞穂 広島県立広島工業大学 工学部 4年生	#81: 黒澤 駿 東京大学 工学部 2年生	#82: 鈴木 日菜子 横浜国立大学 工学部 2年生	#83: 堀 雅伸 横浜国立大学 工学部 2年生
#84: 西井 香織 広島大学 工学部 2年生	#85: 吉野 油賀 岡山大学 工学部 2年生	#86: 高橋 夢佳 山梨大学 工学部 2年生	#87: 渡部 雄貴 広島大学 工学部 2年生
#88: 藤原 晃希 中央大学 工学部 2年生	#89: 石田 慎太郎 神戸大学 工学部 2年生	#90: 河合 敬典 山梨大学 工学部 2年生	#91: 孔 禮清 東京大学 工学部 2年生
#92: 増田 雄大朗 中央大学 工学部 2年生	#93: 飯田 祐郎 中央大学 工学部 2年生	#94: 長谷川 雄大 東京大学 工学部 2年生	#95: 中村 成 広島大学 工学部 2年生
#96: 今井 友佳 横浜国立大学 工学部 2年生	#97: 谷 流志 中央大学 工学部 2年生	#98: 福川 寛也 中央大学 工学部 2年生	#99: 迫野 翼 横浜国立大学 工学部 2年生
#100: 遠藤 陽希央 東京大学 工学部 2年生	#101: 立岸 直也 東北大学 工学部 2年生	#102: 高橋 幸希 東北大学 工学部 2年生	#103: 赤池 知恵 横浜国立大学 工学部 2年生
#104: 渡水 耕介 京都大学 工学部 2年生	RIKEN TECHNOS Presents "チャレンジ"する学生の想いに迫る 夢らぼ DREAM LABORATORY 番組ナビゲーター 水原 レイナ 夢らぼテーマソング「夢めいろ」小宮 詩		

毎週土曜 夕方6時55分 放送

BS12 トゥエルビ

従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。
また、より良い環境で働くことができるよう様々な制度を設けています。

管理本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
取締役 専務執行役員
管理本部長 兼 経営企画本部長
いりえ じゅんじ
入江 淳二

リケンテクノスは2019年4月に新3か年中期経営計画を開始させましたが、主要課題の中に「人材育成とガバナンス重視の経営による企業基盤の強化」を掲げております。2018年に人事制度を一新し、チャレンジメーカーである当社全従業員が積極的に業務にチャレンジできる仕組みづくり、グローバル展開に適した人材開発・確保に取り組んでおります。一方、近時報道で品質偽装等のコンプライアンス問題が多見されておりますが、国内外連結子会社従業員も含めたリスク管理・コンプライアンス教育の徹底が当社グループの企業基盤強化に不可欠であることは異論を挟みません。

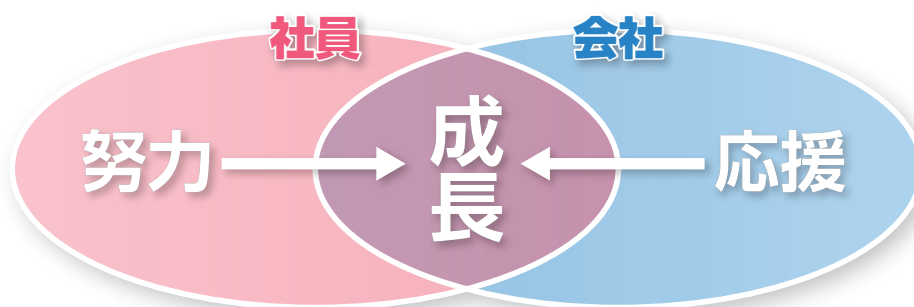
「More Value to All 2021」の経営方針のもと、すべてのステークホルダーの皆様により高い付加価値をお届けできるよう取り組んでまいります。

● 人材育成の考え方

リケンテクノスの人材育成に対する基本的な考え方は、“社員一人ひとりが「求める力：自立・創造・実践・自律」を発揮できる最適な仕事や環境の「場」を提供する”そして、“社員の「成長」と「活躍」を応援し、それを会社の発展につなげていく”というものです。

社員と会社は、共に成長する関係にあります。社員が『会社が求める人材像にかなった人材』へと成長することにより、結果として会社も成長していきます。

● 社員と会社の関係



そのために、会社はキャッチフレーズとして、

「私たちは応援します！ 自ら成長しようと努力する意志のある人を！」

を掲げ、社員の成長を応援しています。

● 教育制度

● キャリア開発研修

2018年4月より始まった新人事制度によるキャリア形成支援の取り組みのひとつとして、『キャリア開発研修』を行っています。

若手社員が社内外の環境変化を考察し、また自己分析を行うことで、将来に向けて積極的にチャレンジし成長し続ける。そのような教育環境の構築を推進しています。



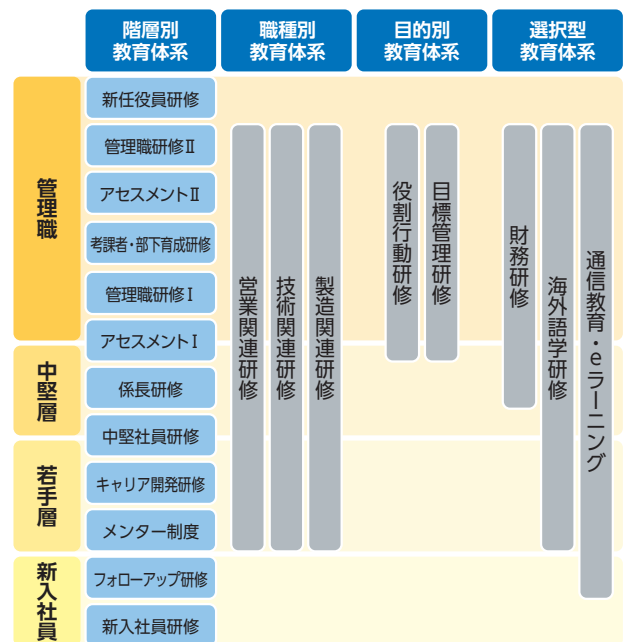
● 考課者・部下育成研修

上司が部下に対し正確かつ公平な人事考課を行い、また部下を育成する力を強化することを目的に「考課者研修」、「部下育成研修」を行っています。

上司の役割責任を理解し評価方法について学ぶとともに、後継者の育成、部下の中長期的なキャリア目標の共有、部下との対話力強化などを学びます。『キャリア開発研修』と相まって、持続的に組織活性化を促進する教育体制を整えています。



● リケンテクノス教育プログラム



● 経営層の育成

当社では、経営層の育成にも力を入れています。多様な考え方を知り、「使える経営スキル」を習得する機会を提供すべく、グロービス・マネジメント・スクールへの派遣も実施しています。

Voice



基盤技術研究室 デザイン研究グループ 主任研究員 さかい ひさお
坂井 寿生さん

個々の生産性向上が要求される中、まず自分自身が生産性の高い人材になりたいと、そのためには感覚だけに頼らず論理的な頭脳を磨く必要がある、それは読書だけで得られるものではなく、学校に身を置いて切磋琢磨しあいながら鍛える方が身に付く、という結論に達し、受講を決意しました。卒業後の自分に早く会いたいです。



コンパウンド開発室 室長 わかやま ひろあき
若山 央明さん

これからの時代は、的確かつスピード感のある判断力が重要であると考えている中で、グロービス・マネジメント・スクールでの受講機会を与えていただいたことから、楽しく前向きに取り組ませていただいております。常々、自分の考え方は正しいのか自問自答を繰り返しておりますが、今回の受講により、考え方を体系化することができ、ベースを固めることができていると実感しています。この受講を能力の向上につなげ、業務に活かしていきたいと考えております。

● 経営理念の浸透

経営理念である「リケンテクノス ウェイ」を社員に浸透させるため、4つの制度を設けています。そのうちのひとつ、「サンキューカード」制度は、社員同士で感謝の気持ちを表すもので、海外拠点でも導入が進んでいます。サンキューカードを多くもらった社員および、多く贈った社員への表彰を行っています。2018年度の受賞者も、昨年に引き続き群馬工場が上位を独占しました。

● 国内



贈られた人

NO 1

橋爪 一政さん (群馬工場 フィルム製造課)

NO 2

柳田 澄夫さん (群馬工場 フィルム製造課)

NO 3

瀬川 将義さん (群馬工場 フィルム製造課)



贈った人

NO 1

橋爪 一政さん (群馬工場 フィルム製造課)

● 海外

海外でもサンキューカード制度を実施しています。米国のRIMTEC CORPORATIONでも表彰式が開催されました。



サンキューカードを贈られた上位の方々
第1位は、1番右のRichard Palmer (リチャード・パルマー)さん



サンキューカードを贈った上位の方々
第1位は、1番右のXuhui Wang (シュフイ・ワン)さん

● スリーゼロ達成表彰式

海外の製造拠点におけるスリーゼロ(労災・品質クレーム・重故障)継続が200日および100日続いた拠点の表彰式を行いました。

【スリーゼロ200日達成】



RIKEN (THAILAND) CO., LTD.



RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.



PT. RIKEN INDONESIA

【スリーゼロ100日達成】



RIKEN ELASTOMERS CORPORATION



上海理研塑料有限公司

● 子育て支援

● 育児休業制度

最長2年間の休業ができます。さらに育児休業の一定の期間は有給としています。2018年度は、4名の社員が利用しました。

● 育児短時間勤務制度

育児をしている社員が、1日6時間まで勤務時間を短縮できます。家庭や保育園などの個別事情に応じた働き方が選べます。小学校入学前まで利用できる制度です。2018年度は、2名の社員が利用しました。

● 再雇用制度

定年(60歳)を過ぎた従業員のさらなる活躍は、会社にとっては技能伝承の面で、社員にとっては生活の安定という面で、双方にメリットがあります。リケンテクノスグループでは2006年度から組合員層、管理職層を対象にした再雇用制度を導入し、時代の変遷に合わせて、より良い制度へと改善しています。

● 社員の多様性への対応

当社は社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などにも配慮をしています。女性活躍のための各種施策を行っており、管理職も含め女性社員が様々な部署で活躍しています。また、外国人の採用も積極的に行っています。

安全衛生活動

安全衛生の考え方

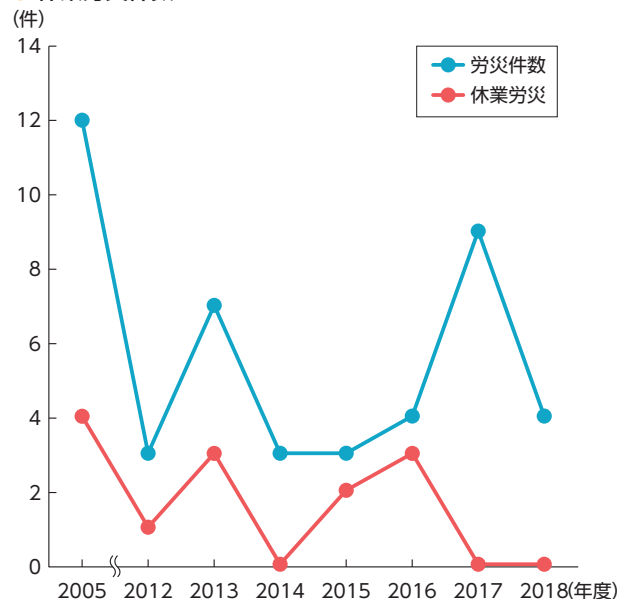
当社は、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。ISO45001に沿った労働安全マネジメントシステムにて活動しています。

「リスクアセスメント」による

危険・有害源撲滅活動の定着

2003年にリスクアセスメント(RA)を導入後、職場に潜んでいる危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。「災害ゼロ」から「危険ゼロ」となるように、安全意識向上と危険改善・システム改善の活動を全員参加で進めています。

休業労災件数



RIKEN VIETNAM CO., LTD.での消防訓練



活動の見直し

2018年度は、「災害ゼロ」に向け、「RAの推進」「指差呼称の推進」「過去の労災ビジュアルパネルを利用した安全唱和」「安全ルールの総点検」「安全衛生基礎(常識)の再教育」を中心に活動いたしました。その結果、休業労災「0」となりましたが、不休労災は4件でした。事故の型は

「ぶつかり」「火傷」「切創」「落下」で、主な原因は「危険予知活動(KY)不足」「無理な姿勢」「確認不足」でした。2019年度は、「RAの推進」「指差呼称の推進」「過去の労災情報の共有化と原因の振り返り」「不安全行動、不安全状態の撲滅」「自作製労災防止ビデオによる安全衛生基礎の再教育」を中心に活動いたします。



海外拠点の従業員への危険体感機器を利用した安全教育



2019年入社の皆さん

リケンテクノスの未来を担う新入社員の皆さんに、リケンテクノスグループの一員としての自覚を持って働いてもらうため、リケンテクノス ウェイのコアバリューにある「仕事を楽しみワクワクする」をテーマに、「〇〇だったら、ワクワク」という用紙に、自分なりの「〇〇だったら」を書いてもらいました。



フォローアップ研修

入社して3カ月目に、振り返りとフォローアップを目的として、2日間のフォローアップ研修を実施しています。

講習を受講するだけでなく、入社後3カ月間の業務内容についてグループワークを行い、発表します。研修のカリキュラムを通じて、多くの学びや気づきを得たようです。



受講の様子



発表の様子



環境管理活動

製造本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
製造本部長
おしあみ ひさひと
奥水 宏人

製造本部は、グローバルで戦っている中、世界同一品質および安定供給をさらに充実させるために様々な取り組みを実施しています。例えば、積極的な海外拠点への人材派遣、技能オリンピックによる生産技術の向上、TPM導入による3ゼロ達成(クレーム・労働災害・重大設備事故)、グローバルに活躍できる人材の育成などです。さらに、各工場では、生産効率向上、コスト削減、短納期化を目標にIoTおよびAI導入を段階的に進めてまいります。

環境管理活動としては、省エネ化、廃棄物の削減、化学物質の適正管理推進、工場隣接地域の清掃等の地域美化に取り組んでおります。

環境方針

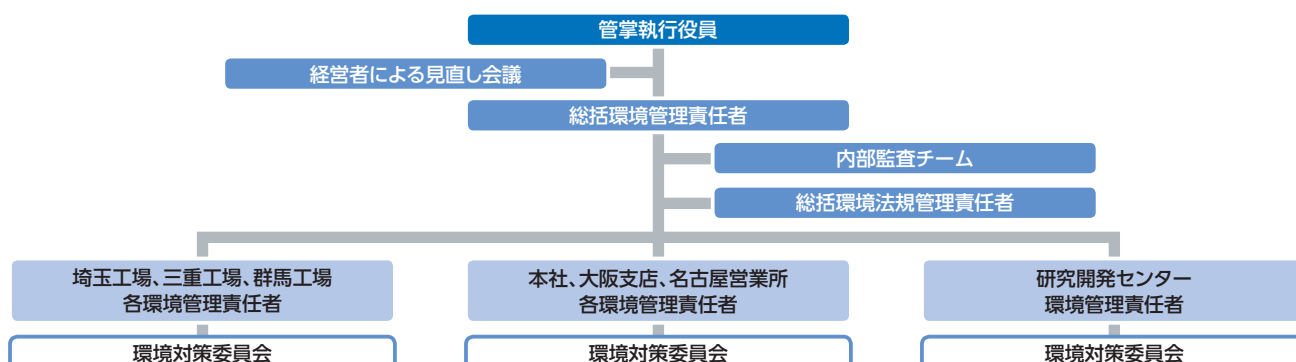
あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次のことを実施します。

- ① 事業活動において、環境関連法規およびその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規程類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防および環境保全の支援を推進します。
- ② 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性および生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、様々な素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
- ③ 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性および生態系への負荷を軽減します。
- ④ 環境方針を含め社内規程類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
- ⑤ 環境方針達成のために環境目的およびできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
- ⑥ 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性および生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
- ⑦ 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム組織図

管掌執行役員がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



● 推進体制

環境マネジメントシステムを推進するため、主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を明確にしています。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による 環境マネジメント見直し会議	全取締役、全執行役員 総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

● 総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者(工場長等)	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

● 緊急時対応

各サイト・各部門で想定しうる緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

当社は多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。

● 品質・環境の監査の体制

(1) 内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2018年度は58部署で監査が実施され、21件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると108件の指摘件数がありました。指摘事項は、マネジメントプログラムの不備、文書、記録管理の不徹底、内部コミュニケーションの不備等で、是正処置を実施いたしました。是正の継続を確認するとともにマネジメントシステムの改善と、確実な実施を図っていきます。

(2) 外部監査

2019年6月に外部審査機関のISO9001・14001審査機関による更新審査を受審いたしました。2019年4月からリケンファブロの技術、生産、品証部門がリケンテクノスに統合されたことに伴い、統合部門の拡大審査も実施いたしました。審査の結果は不適合7件、改善事項10件の指摘がありました。また、2018年度は18社の顧客監査を受けました。外部監査機関、顧客からの監査での指摘事項につきましては、適切に改善を実施いたしました。

● ISO14001(2015)認証取得

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

初回登録 2001年10月31日 有効期限 2022年8月30日



活動結果の概要

2018年度環境目標と実績

当社は毎年環境方針をもとに、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素(以下CO₂)の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減、そして化学物質の

管理強化を主テーマとして全社横断的に取り組んでいます。

2018年度は、全社各部署合計で173件の目標が設定され、117件(68%)が達成されました。

(1)エネルギー使用量削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
72	45(63%)	①電気使用量の生産量比 2012年度比6%削減 ②重油使用量の生産量比 2012年度比6%削減 ③CO ₂ 排出量の生産量比 2012年度比6%削減 ④総CO ₂ 排出量 2012年度比6%削減	①6.6%削減で達成 ②32%削減で達成 ③6.5%削減で達成 ④7.6%増加で未達成

(2)廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
37	18(49%)	単純(埋立・焼却)廃棄物量の総生産量比:0.1%以下 総廃棄物量の生産量比:3.5%以下	埋立・焼却廃棄物量の総生産量比は0.12%で未達成 総廃棄物量の生産量比は3.77%で未達成

(3)①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

	目標設定件数	達成件数	目標	結果
①化学物質管理の強化	22	20(91%)	独自に指定した化学物質の使用削減。環境配慮製品の開発。	①化管法第一種指定化学物質の2018年度使用量は、昨年度の40%増。生産量増加が主要因。 ②リサイクル好適材は、2017年度売上量は、昨年度の5%増加。
②環境配慮型製品の開発	18	12(67%)		

リケンテクノスの環境負荷の状況

当社の事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス(CO₂)の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス(単体)+リケンファブロ(埼玉、三重)での環境負荷実態は以下の通りです。

●生産に係わる製品1トン当たりのCO₂負荷量(2018年度)

インプット		アウトプット		CO ₂ 負荷量(t-CO ₂ /t)	
原材料(塗料等含む)	92,000t	コンパウンド製品	70,000t	コンパウンド	0.22
梱包資材	3,000t	フィルム製品	15,000t	フィルム	0.98
電気	71,000MWh	包装用ラップ製品	9,000t	食品用ラップ	0.91
重油	2,550kl	総廃棄物	3,730t		
水道水	132,000m ³	排水量	349,000m ³		
地下水	211,000m ³				
工業用水	11,000m ³				

●ストック汚染・公害防止の取り組み

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的に開催させていただき、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じ当社の事業活動へのご理解をいただいています。

● 省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

当社は埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

当社の事業活動から生じる温室効果ガス*1の主なものはCO₂です。

設備の稼働効率向上、蓄熱式脱臭炉導入、空調機のデマンド制御*2導入、工業用圧縮空気や蒸気の漏れ防止管理、省エネ照明へ切替え等の省エネ活動を推進しています。

長年、CO₂排出量削減に主眼をおいて目標を展開してきましたが、近年、電力に関するCO₂換算係数が大きく変動することから、2014年度より、2012年度を基年度として、エネルギー源使用量の生産量比を、毎年1%削減することを目標といたしました。2018年度は2012年度比

で6%の削減を目標とし、電気使用量の生産量比6.6%削減、重油使用量の生産量比32%削減を達成しました。

2015年12月、群馬工場にて重油ボイラーから都市ガスボイラーに変更したこと
が、重油使用量削減やCO₂排出量の削減、大気汚染の低減につながっています。

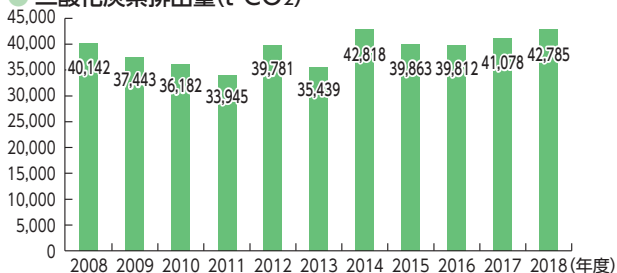
2013年3月、群馬工場の隣接地で再生可能エネルギーである太陽光発電設備が稼働を開始しました。

2018年度は、群馬工場に約7万kWh供給し、約73万kWhを売電しました。



リケンテクノス株式会社
ソーラー発電所(群馬工場の敷地内)

● 二酸化炭素排出量(t-CO₂)

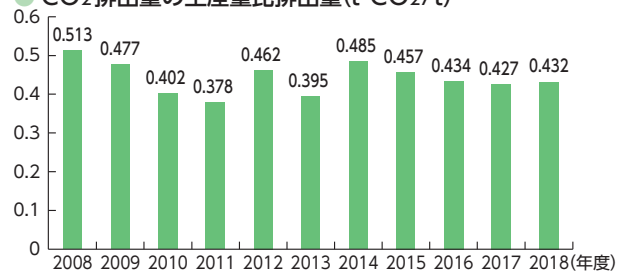


※ 2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

*1 温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO₂排出量を算出しました。2005年より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO₂排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO₂排出量は除いています。

*2 空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

● CO₂排出量の生産量比排出量(t-CO₂/t)



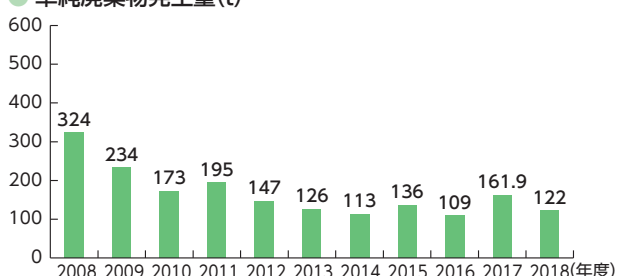
● 廃棄物の削減

当社は、製造段階で発生する単純(埋立・焼却)廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2014年度から新たな目標「単純廃棄物量の生産量比0.3%⇒0.15%⇒0.1%以下、総廃棄物量の生産量比5%⇒4%⇒3.5%以下に抑えることを目標に」に取り組むこととしました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の発生そのも

の抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

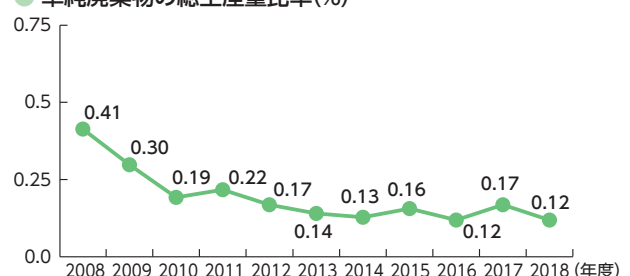
単純廃棄物量の生産量比は0.12%で目標未達成、総廃棄物量の生産量比は3.77%で目標未達成でした。

● 単純廃棄物発生量(t)



*埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター(東京)で発生した単純廃棄物量です。

● 単純廃棄物の総生産量比率(%)





● 化学物質の適正管理

当社は、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。

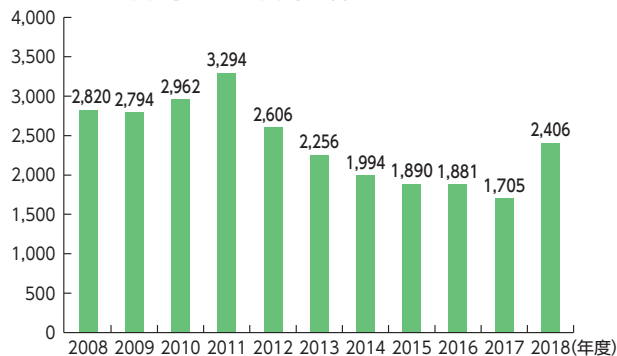
1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、さらに2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法PRTR制度に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化学物質排出把握管理促進法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更があり対応しました。

そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は、当社グループ会社のリケンタイランドカンパニーリミテッドが洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました結果、化管法第一種指定化学物質の

使用量が著しく増加しました。2018年度は昨年度から40%増加としましたが生産量が増加したことが主な要因です。2017年度のPRTR対象化学物質の使用種類数は28種類で、1トン以上使用し国へ届け出したものは9種類でした。

● PRTR対象化学物質の使用量(t)



● PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB^{*1}特別措置法)が施行されました。埼玉工場にPCB含有廃油が845.5kg存在している事が分かりました。三重工場、研究開発センター(東京)の2事業所で保管していたPCB廃棄物については、全て処置完了しました。

また、1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

事業所名	PCB廃棄物	保管と処理状況
埼玉工場	PCB含有廃油 845.5kg(高濃度)	2019年度処理予定
	高圧コンデンサ 15台(高濃度)	2017年度処理完了
	高圧トランス 2台(低濃度)	2015年度処理完了
	PCB含有廃水・廃油 1,446l(低濃度)	
三重工場	高圧トランス 4台(低濃度)	2014年度処理完了
	PCB含有廃油 350l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 300g(低濃度)	
研究開発センター(東京)	高圧コンデンサ 12台(高濃度)	2013年度処理完了
	高圧トランス 1台(低濃度)	
	PCB含有廃油 330l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 15kg(低濃度)	

^{*1} PCB: PolyChlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称

● 従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化(二酸化炭素排出削減)への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2018年度は従業員とその家族から(夏:1261名)回答が寄せられ、一人当たりの平均CO₂削減量は(夏:850g-CO₂/日)でした。また、CSR報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼす当社全体への影響を理解するよう啓発しています。

	参加者数(名)	削減量(g-CO ₂ /人・日)
2014年度夏	1,474	760
2014年度冬	1,480	960
2015年度夏	1,497	920
2015年度冬	1,365	960
2016年度夏	1,267	950
2016年度冬	1,360	1,010
2017年度夏	1,371	1,020
2017年度冬	1,229	1,090
2018年度夏	1,261	850

● 事業活動に係わる環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。2015~2018年度は、フロン排出抑制法遵守に力を入れました。

また、埼玉県地球温暖化対策計画制度・目標設定型排出量取引制度への対応を行い、第1次計画のCO₂削減目標(基準年の6%削減)をクリアーし、第2次計画のCO₂削減目標(基準年の13%削減)も順調に推移しています。

● 特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを改正し、2015年10月からRoHS2*2の10物質(従来のRoHS6物質に加え2019年7月規制のフタル酸エステル類4物質)の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することにしました。そして関係会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。

お客様に安心・安全な商品を提供することは、メーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保すること

は当社の重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確にいたしました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

*1 REACH: 欧州における化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則
*2 RoHS2: P.28 注釈参照ください。

● 生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、PRTR第一種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。また、工場緑地の整備、森林整備ボランティア活動への参加を行っています。



● 環境会計

当社は、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

● 2018年度環境会計の集計基準

- (1) 集計範囲: リケンテクノス全事業所(単体)
- (2) 対象期間: 2018年4月1日～2019年3月31日
- (3) 参考文献: 『環境会計ガイドライン2005年版』(H17.2 環境省発行)

● 2018年度環境会計の総括

2018年度は、環境保全コスト投資額約0.2億円、費用額約11.6億円で合計約11.8億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約10億円と非常に大きなウエイトを占めています。

活動の結果の環境保全効果として、単純埋立・焼却廃棄物は生産量比0.1%以下の目標に対し0.12%で未達成。総廃棄物量は生産量比3.5%の目標に対し3.77%で未達成でした。CO₂排出量については、継続的な省エネ活動

を行いましたが、2012年度比6%削減目標に対し7.6%増加し未達成でした。生産量の増加が主な要因です。一方、電力原単位(電気使用量MWh/生産量t)は、2012年度比6%削減目標に対し6.6%削減し達成。重油原単位(重油使用量KL/生産量t)は、2012年度比6%削減目標に対し32%削減で達成となりました。省エネ活動(省エネ設備投入や効率生産の工夫等)の効果によるものです。

廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約1,200万円の経済効果を得ることができました。



● 環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額*1	費用額*2
1. 事業エリア内コスト		18,733	113,383
*公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	923	47,499
*地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	17,810	0
*資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	0	65,884
2. 上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	640	20,220
3. 管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動(外部審査費用) 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	13,667
4. 研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	1,007,700
5. 社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	750
6. 環境損傷対応コスト	土壌調査改質費	0	10,218
合計		19,373	1,165,938

*1 投資額：対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの

*2 費用額：環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

● 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2017年度	2018年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)	798,118	845,852
	種類別エネルギー投入量	電気(MWh)	69,027
		重油(kl)	2,478
		都市ガス13A(km ³)	550
		ガソリン(kl)	42
		軽油(kl)	4
	PRTR管理対象物質投入量(t)	1,706	2,406
	水資源投入量	水道水(m ³)	118,000
		地下水(m ³)	211,000
		工業用水(m ³)	7,700
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	41,000	43,000
	PRTR管理対象物質排出量(t)	7.2	546.7
	PRTR管理対象物質移動量(t)	10.1	16.8
	廃棄物等総排出量(t)	3,680	3,730
	廃棄物最終処分量(t)	161	122
	排水量(m ³)	285,000	349,000
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	有価リサイクル量(t)	1,830	1,738
その他の環境保全効果	製品等の輸送量(t・km)	28,738,308	28,485,895
	輸送に伴うCO ₂ 排出量(t)	4,988	4,944
	輸送エネルギー(GJ)／生産量(t)	4.61	4.36

● 環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2017年度	2018年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	7,073	7,011
省エネ等による費用削減	6,964	4,921
合計	14,037	11,932

● 資産除去債務について

2019年3月末現在 単位:千円

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

費用内容	処理費用
建物原状回復費	73,888
石綿使用部位の処理費	31,618
PCB使用設備更新費	0
土壌汚染処理費	60,236
合計	166,742

● リケンテクノスグループ環境データ

● リケンテクノス工場別環境データ

● 埼玉工場

- 敷地面積：58,739m²
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：228名

● 三重工場

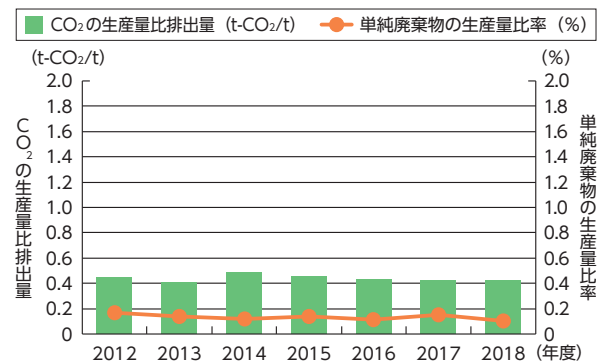
- 敷地面積：55,247m²
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：213名

※埼玉工場、三重工場にはリケンファブロ株式会社の活動も含んでいます。

● 群馬工場

- 敷地面積：55,904m²
- 事業内容：クリーン環境下での高性能フィルムの製造
- 従業員：46名

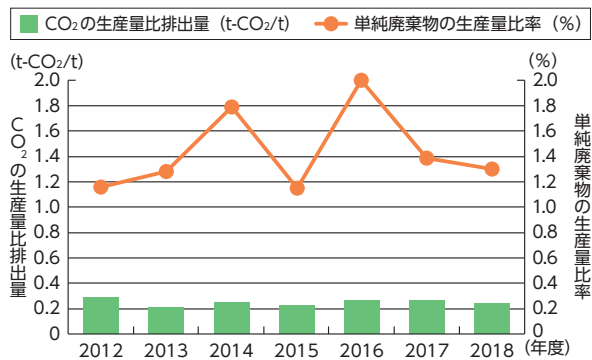
● CO₂の生産量比排出量と単純廃棄物の生産量比率 (埼玉工場、三重工場、群馬工場の合計)



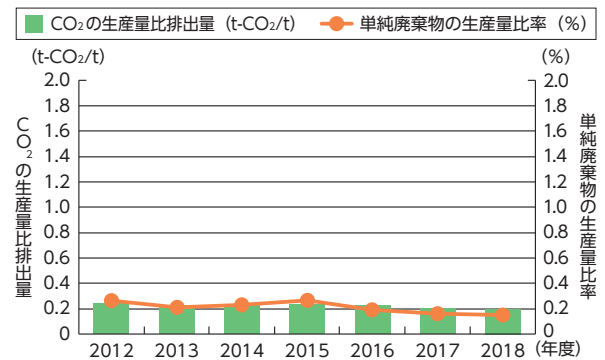
● リケンテクノス関係会社環境データ

① コンパウンド製造会社

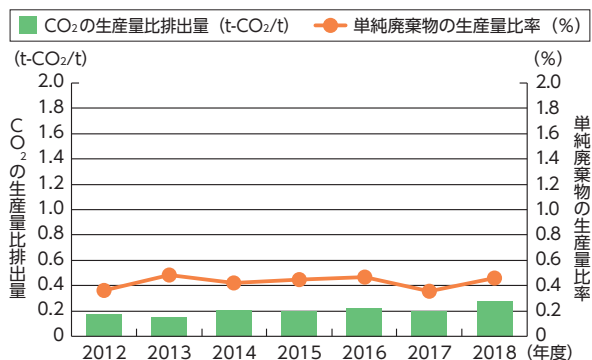
リケンケミカルプロダクツ株式会社 従業員数55名



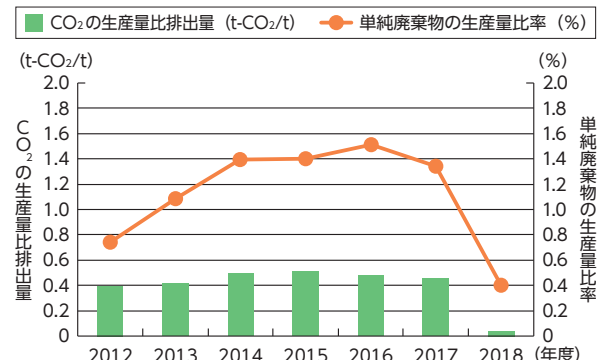
RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 従業員数238名



RIMTEC CORPORATION 従業員数96名



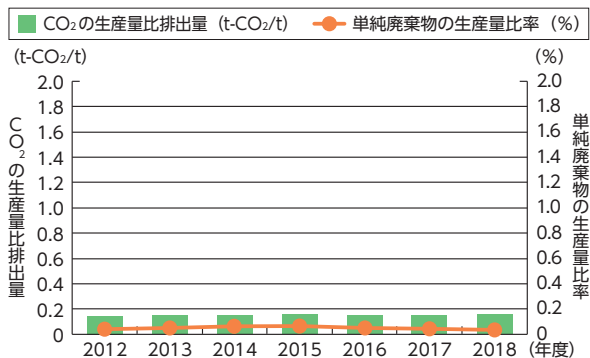
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 従業員数42名



活動結果の概要

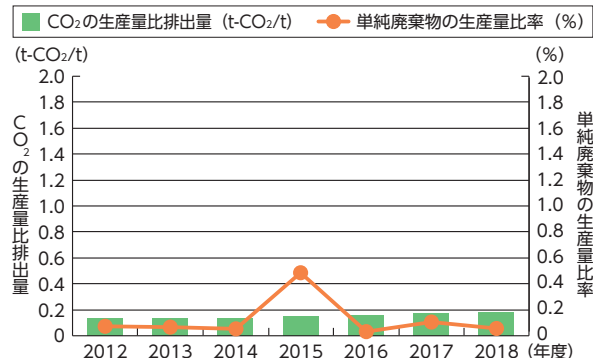
PT. RIKEN INDONESIA

従業員数 217 名



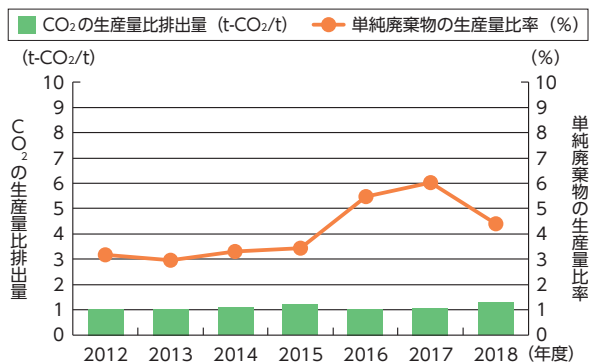
上海理研塑料有限公司

従業員数 126 名

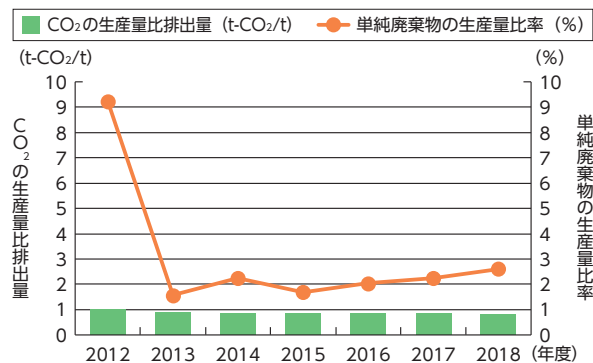


②成形会社

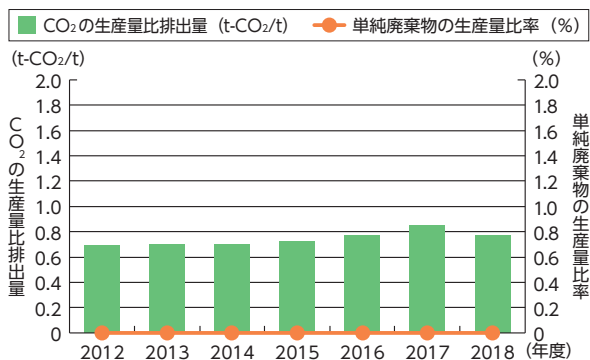
リケンケーブルテクノロジー株式会社 従業員数 80 名



株式会社協栄樹脂製作所 従業員数 58 名



理研食品包装 (江蘇) 有限公司 従業員数 60 名



有識者の意見



クレイグ・コンサルティング
代表取締役

おがわ みつお
小河 光生 氏

SDGsとESGがメガトレンドとして経営者に認識され始め、CSRはこれまでとは完全に潮目が変わった、と考えてよいだろう。今やCSRという呼称を用いると、社会貢献的な意味合いが強くなり、かえってこのメガトレンドの本筋の議論の阻害要因になりかねない。経営者がSDGsやESGに着目しているのは、これが将来のビジネスチャンスとビジネスリスクになりうるからである。SDGsに関して言えば、2030年に向かって全世界のあらゆる組織が課題解決に乗り出すテーマであるから、そのまま自社にとってのチャンスと語ることも同義となる。またESGに関して言えば、これに積極的ではない企業には投資が集まらなくなっている。まさに経営者が、自社の中期経営計画にSDGsとESG視点を取り込んでいいる理由はここにある。

リケンテクノスが、今年からCSRレポートをサステナビリティレポートに呼称を変え、さらに内容を充実させようと試みているのは、こうした時代背景を先取りしようという意思の表れだと感じている。秀逸なのは、今年から取り組む「新3か年中期経営計画」の主要課題のひとつに「サステナブルな社会への貢献」と明確に謳っていることである。これは、先に述べたメガトレンドを事業計画と一体として把握し、経営戦略としてサステナビリティに取り組もうという経営の意思である。トップメッセージには具体的な活動領域として、気候変動や環境問題への意識を強く持つこと、廃棄・リサイクルを視野に入れた製品開発など化学メー

カーとして責務を果たしていく覚悟が述べられている。その経営姿勢は高く評価できる。

また、新3か年中期経営計画の主要課題をSDGsのテーマと結び付け、自社の事業がグローバルな課題にどのように貢献できるのかを明確にしたことも評価できる。取り組もうとするSDGsのテーマ数がやや多いことは気になるが、こうした取り組みは同社にとって初めてなので、今後具体的に事業戦略との結びつきの中で絞り込まれていくと期待している。

レポートを拝見して、いくつか今後の課題を指摘したい。

第一に「価値創造ストーリー」を作成することにチャレンジいただきたい。投資家がESG情報でもっとも重視するのはこの価値創造ストーリーである。価値創造ストーリーとは、今後同社が強みやビジネスモデルを活用してどのように社会的価値を提供していくのかということである。他の化学メーカーで価値創造ストーリーを明示している企業があるので、そうした企業をベンチマークして作成するのが良いだろう。

第二にサステナビリティで描く将来像を明示して、そこに至るKPI(定量的な目標値)を作成してほしい。新3か年中期経営計画の課題には「あらゆる側面からサステナブルな社会に貢献」とあるが、より具体的に豊かさ、安心、快適を提供していく分野と目標を定量化してステークホルダーにコミットしていきたい。KPIがあれば、目標までの程度の距離があるのかを把握しやすく、また施策に対してもPDCAがかけやすい。

第三に社内浸透に取り組んでほしい。同社は初めてSDGsを取り上げ、新3か年中期経営計画でサステナビリティを設定した。今後は広く社員が自分の言葉でこれらの取り組みを説明できるようにすることが大切である。なぜなら、ステークホルダーに接しているのは社員であり、社員が腹落ちしてしゃべれなければ、ステークホルダーには伝わらないからである。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 **常盤 和明**

今回の報告書では新3か年中期経営計画を特集するとともに、SDGsへの取り組みについても具体的に紹介いたしました。小河様のご指摘にある「価値創造ストーリー」については、まさに新3か年中期経営計画の経営方針「More Value to All」そのものであり、全社を挙げて取り組んでまいります。主要課題のひとつである「サステ

ナブルな社会への貢献」については、現場レベルで確実に成果を上げられるようにしてまいります。最後に、社内浸透に関しては、勉強会を開催するなど様々な施策を打ち始めており、引き続き社員への浸透を図ってまいります。

編集後記

新3か年中期経営計画のスタートに合わせ、本報告書より報告書名をサステナビリティレポートといたしました。持続可能な社会の実現に向け、どのような価値をリケンテクノスグループがお届けしているのかをなるべくわかりやすくお伝えできるように編集いたしました。本報告書を通じてリケンテクノスグループの取り組みをご理解いただくとともに、本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者
取締役 専務執行役員 管理本部長 兼 経営企画本部長：入江 淳二
編集メンバー
品質保証本部 マネジメントシステム部：井上 宏一、笠原 康生
経営企画部 企業ブランディンググループ：吉岡 さやか、大林 美桜



リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社 経営企画部

〒101-8336

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

TEL: 03-5297-1631 FAX: 03-5297-1660

ホームページ

<https://www.rikentechnos.co.jp>

2019年9月発行

